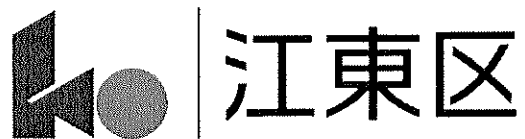


第 19 回

# 江東区政世論調査

平成 21 年



## 「みんなでつくる」江東区の未来

江東区は、急激な人口増加や南部を中心とした開発の進展などにより、これまでにない大きな変革の時期に直面しています。このような変化に的確に対応し、未来に向かって発展を続ける江東区の都市像を明確にするため、私は本年3月、区政運営の基本となる新たな基本構想を策定いたしました。

この基本構想では、概ね今後20年を展望した江東区の姿を「みんなでつくる伝統、未来 水彩都市・江東」とし、区と区民の皆様と一緒に江東区をつくることを将来像として決めました。

基本構想に基づく施策の実現のためには、区民の皆様のご意見・ご要望を把握・分析したうえで、的確に反映させていくことが重要と考えており、区では、区政世論調査、区民アンケート、パブリックコメント、区政モニターアンケートなどを通し、多くの区民の皆様のご意見をお聴きしております。

区政世論調査は、昭和48年から隔年で実施しており、今年で19回目となりました。

今回の定住意向調査では、「江東区にずっと住みたい、当分は住みたい」と答えた割合が91.1%と前回は3.6ポイント上回る高い数値となりました。高い定住意向の理由は、下町の人情と思いやりといった地域風土に加え、水と緑に囲まれた住環境と都心へのアクセスの良さなどが、区民の皆様が高く評価されているからだと思います。調査結果につきましては、今後の区政運営や施策立案の際の貴重な基礎資料として、活用してまいりたいと考えております。

私は、今後も高い定住意向に満足することなく、「目指すべき江東区の姿」に向かって、区民の皆様とともに歩んでまいります。

最後に、本調査の実施にあたり、ご協力いただきました区民の皆様にご心から御礼を申し上げます。

平成21年11月

江東区長 山崎孝明

## 1. 調査目的

江東区政の各分野について区民の意識や動向、意見や要望などを把握することにより、今後の区政運営の参考に資する。

## 2. 調査の内容

- |          |             |                |
|----------|-------------|----------------|
| (1) 定住性  | (5) 観光      | (9) こうとう区議会だより |
| (2) 情報化  | (6) 高齢福祉    | (10) 長期基本計画    |
| (3) 防災対策 | (7) 環境      | (11) 広報・広聴     |
| (4) NPO  | (8) 清掃リサイクル |                |

## 3. 調査の設計

- |              |  |
|--------------|--|
| (1) 調査地域     | 江東区全域  |
| (2) 調査対象     | 江東区在住の満20歳以上の男女  |
| (3) 標本数      | 1,200人   |
| (4) 調査対象者の抽出 |  |
| ①母集団         | 江東区住民基本台帳上の満20歳以上の男女   |
| ②地点数         | 120地点（1地点10サンプル）   |
| ③抽出法         | 層化2段無作為抽出法（層化→地点抽出→対象者抽出）  |
| ④層化          | 1又は2箇所の出張所（旧出張所を含む）の所管区域を単位として7地区に層化（図1・表1参照）                        |
| ⑤地点数配分       | 1地点が10サンプルとなるように、各地区の調査対象者に応じて地点数を比例配分した（合計120地点）                    |
| ⑥地点抽出        | 各地区ごとの地点数に応じてインターバルを定め、等サイズブロック抽出法に従い、無作為系統的に各地点の抽出スタート点を決めて地点を抽出した。 |
| ⑦対象者抽出       | 抽出された各地点のスタート点より、1地点10票ずつのサンプルを無作為系統的に抽出した。                          |
| (5) 調査期間     | 平成21年6月26日～7月13日   |
| (6) 調査機関     | 株式会社 サーベイリサーチセンター  |

図1 地区区分図

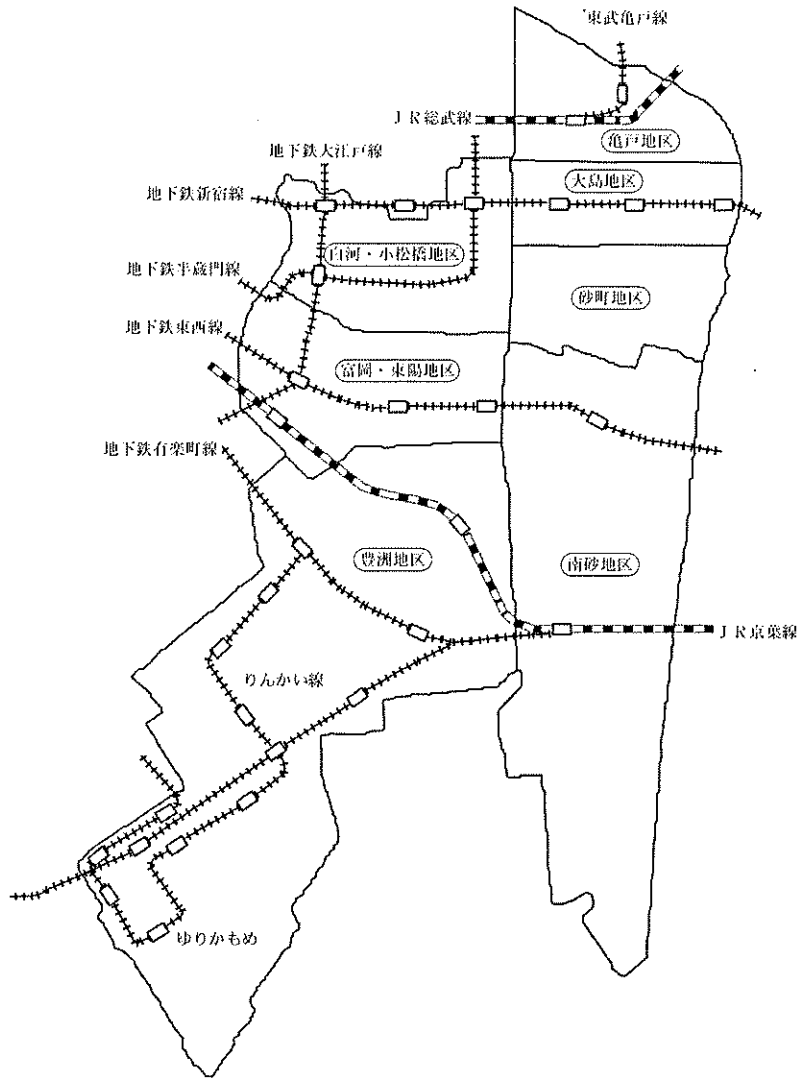


表1 地区・町丁名対応表

地区	該当町丁目
白河・小松橋	清澄、常盤、新大橋、森下、平野、三好、白河、高橋、千石、石島、千田、海辺、扇橋、猿江、住吉、毛利
富岡・東陽	佐賀、永代、福住、深川、冬木、門前仲町、富岡、牡丹、古石場、越中島、木場、東陽、南砂2丁目(1番1号～5号・5番～7番)、新砂1丁目1番
豊洲	塩浜、枝川、豊洲、東雲、有明、辰巳、潮見、青海
亀戸	亀戸
大島	大島
砂町	北砂、南砂(1・5丁目)、南砂2丁目(24番～34番)、東砂(1丁目～5丁目)
南砂	東砂(6丁目～8丁目)、南砂2丁目(1番1号～5号・5番～7番・24番～34番を除く)・3・4・6・7丁目、新砂1丁目(1番を除く)・2・3丁目、夢の島、新木場、若洲

※平成21年6月1日現在

## 4. 調査方法

- (1) 実査方法 調査員による個別面接聴取法
- (2) 調査票 巻末綴じ込みの調査票を使用
- (3) 予告はがき 「江東区政世論調査のお願い」の調査訪問予告はがきをあらかじめ郵送した。
- (4) 再訪問 調査対象者が不在の場合は、日時を変えて3回以上訪問し、調査が円滑に遂行されるように心掛けた。

## 5. 回収結果

### (1) 回収結果内訳

地 区	満20歳以上人口（構成比）	標本数	有効回収数	有効回収率
区 全 体	370,404人 (100.0%)	1,200票	899票	74.9%
白河・小松橋	60,349人 (16.3%)	190	141	74.2
富岡・東陽	54,503人 (14.7%)	170	141	82.9
豊 洲	63,929人 (17.3%)	220	171	77.7
亀 戸	42,716人 (11.5%)	140	94	67.1
大 島	50,755人 (13.7%)	160	121	75.6
砂 町	62,059人 (16.8%)	200	147	73.5
南 砂	36,093人 (9.7%)	120	84	70.0

(2) 回収不能数 301票 回収不能率 25.1%

### (3) 回収不能内訳

回収不能項目	件数	構成比 (%)
拒 否	107	35.5
長 期 不 在	18	6.0
短 期 不 在	139	46.2
転 居 ・ 転 出	10	3.3
住 所 不 明	6	2.0
病 気 ・ 入 院 ・ 死 亡	10	3.3
そ の 他	11	3.7

## 6. 摘要と標本誤差

- (1) すべての集計表は、小数点第2位を四捨五入した。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基礎(n)として算出した。したがって、複数の回答の設問のすべての比率は合計すると100%にならないことがある。
- (3) 標本誤差(サンプル誤差)はおおよそ下表のとおりである。標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、①比率算出の基礎(n)、及び②回答比率(P)によって異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数  
 n = 比率算出の基数(サンプル数)  
 p = 回答の比率

回答の比率 (p) 基礎(n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
899	±2.8%	±3.8%	±4.3%	±4.6%	±4.7%
800	±3.0%	±4.0%	±4.6%	±4.9%	±5.0%
600	±3.5%	±4.6%	±5.3%	±5.7%	±5.8%
400	±4.2%	±5.7%	±6.5%	±6.9%	±7.1%
200	±6.0%	±8.0%	±9.2%	±9.8%	±10.0%
100	±8.5%	±11.3%	±13.0%	±13.9%	±14.1%

(注) 1. 表は  $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$  として算出した。

2. 層化を行った場合、誤差は上表よりやや小さくなる。

3. この表の見方は次のとおりである。

「ある設問の回答者が899人であり、その設問中の選択肢の回答比率が70%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも4.3%である。」

## 7. 集計・分析にあたって

(1) 集計は、①単純集計、②フェイスシートとのクロス集計、③設問間のクロス集計の3種類を行った。

(2) フェイスシート7項目およびそれに準ずる設問として2項目を採用した。

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| ①地区別               | ⑥ライフステージ別 (F 5) |
| ②性別 (F 1)          | ⑦住居形態別 (F 6)    |
| ③性・年齢別 (F 1 × F 2) | ⑧居住年数別 (問 1)    |
| ④職業別 (F 3)         | ⑨定住・転出意向別 (問 2) |
| ⑤家族人数別 (F 4)       |                 |

- (3) 巻末相関表には、(2)の9項目を基本分類軸として掲載した。ただし、問26～問47の「長期基本計画」関連の質問は、上記項目のうち地区別、男女別、男女年代別、ライフステージ別の相関表のみを掲載している。また、分類軸は無回答を省いたものを掲載している。
- (4) 分析に使用したパーセント表示は、全体については小数点第2位を四捨五入して少数点第1位を算出したものを使用した。また、クロス集計によるグラフ上で比率の少ないものは省略した場合もある。したがって、同一項目で小数点第1位と少数点第2位の四捨五入で数値が異なる場合や、回答比率の合計が100%にならないものがある。
- (5) 図、表中の数字で、「-」(バー)はその項目に該当する回答がまったくないものを示す。
- (6) ライフステージの名称および内容は以下のとおりである。

独身期	40歳未満の独身者
家族形成期	40歳未満のこどものいない夫婦、または一番上のこどもが小学校入学前の人
家族成長前期	一番上のこどもが小・中学生の人
家族成長後期	一番上のこどもが高校・大学生の人
家族成熟期	64歳以下で一番上のこどもが学校を卒業している人
老齢期	65歳以上の人

- (7) 「調査結果の分析」の分析軸で、職業別の内容は以下のとおりである。

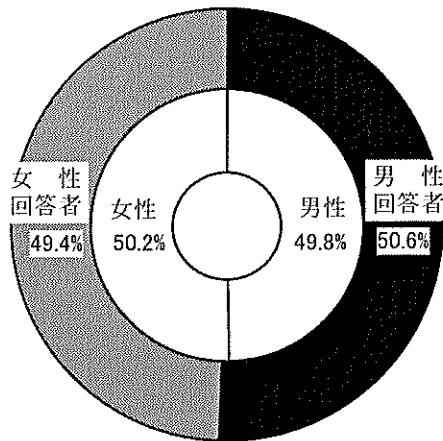
有職男性	男性で職業が「自営業・事業主」、「自由業」、「管理職」、「事務職・技術職」、「労務職・サービス職」、「パート・アルバイト」のいずれかに該当する人
有職女性	女性で職業が「自営業・事業主」、「自由業」、「管理職」、「事務職・技術職」、「労務職・サービス職」、「パート・アルバイト」のいずれかに該当する人
専業主婦	職業が「専業主婦」に該当する人
学生	職業が「学生」に該当する人
無職	職業が「無職」に該当する人

## 8. サンプル（調査回答者）特性

今回の回答者の特性は、下記のとおりである。なお、母集団とは住民基本台帳上の満20歳以上の男女全員である。

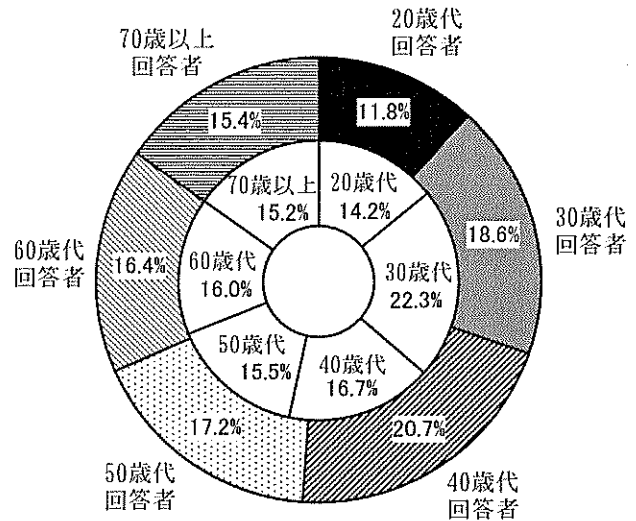
### (1) 性別

◎母集団は女性の方が多いが、回答者は男性の方が多い。



### (2) 年齢

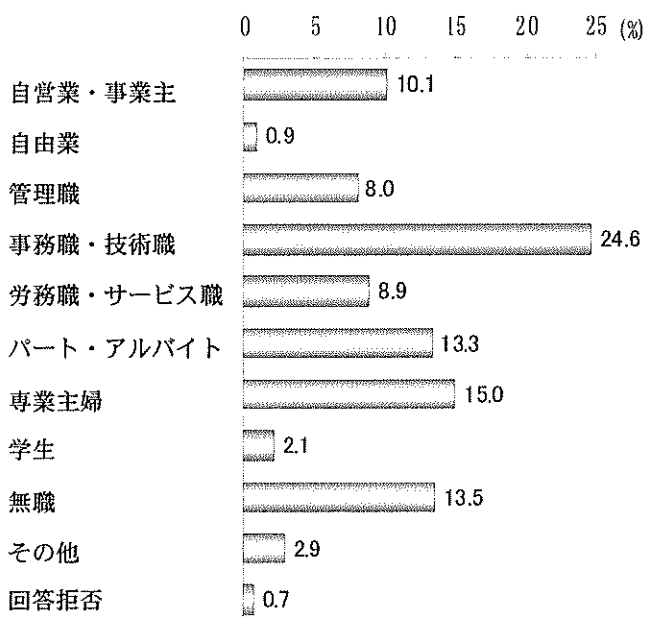
◎母集団の割合に比べて20歳代と30歳代が小さく、40歳代が大きい。



(注) 内円は母集団（江東区在住の満20歳以上の区民）の構成比、外円は調査回答者の構成比を示している。

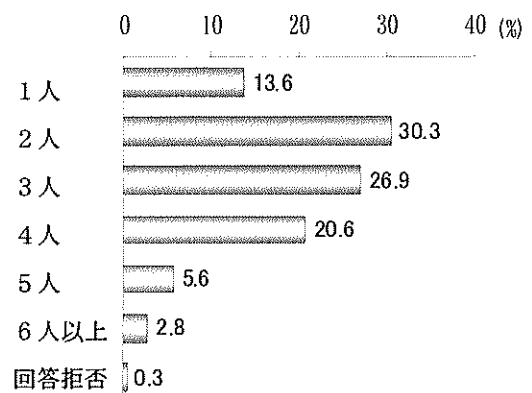
### (3) 職業

◎事務職・技術職が最も多く、次いで専業主婦が多い。



### (4) 家族人数

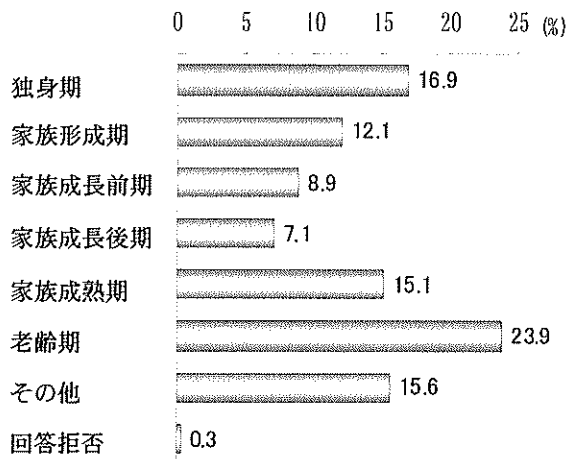
◎2～4人家族がそれぞれ2割台を超えている。





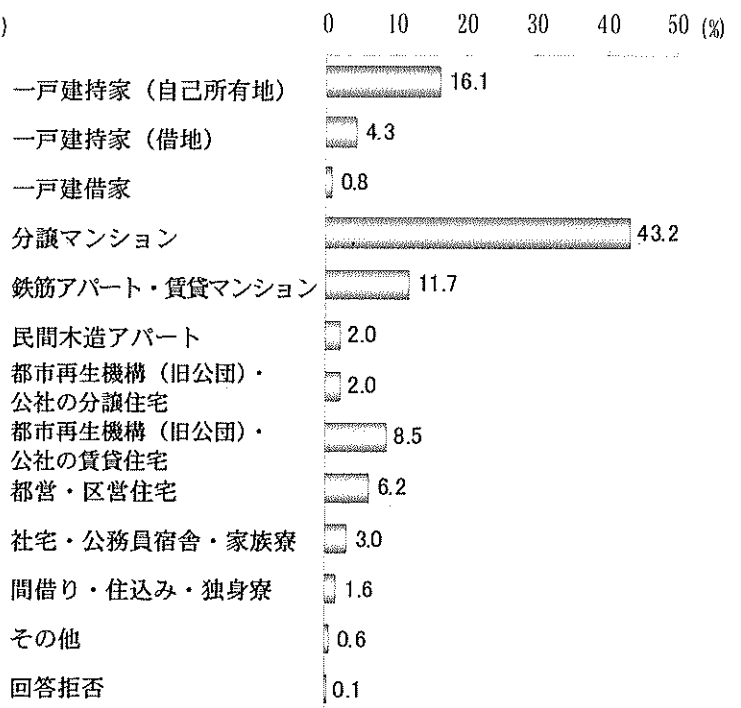
(5) ライフステージ

◎老齢期が最も多く、独身期、家族成熟期、  
 その他が僅差で続く。



(6) 住居形態

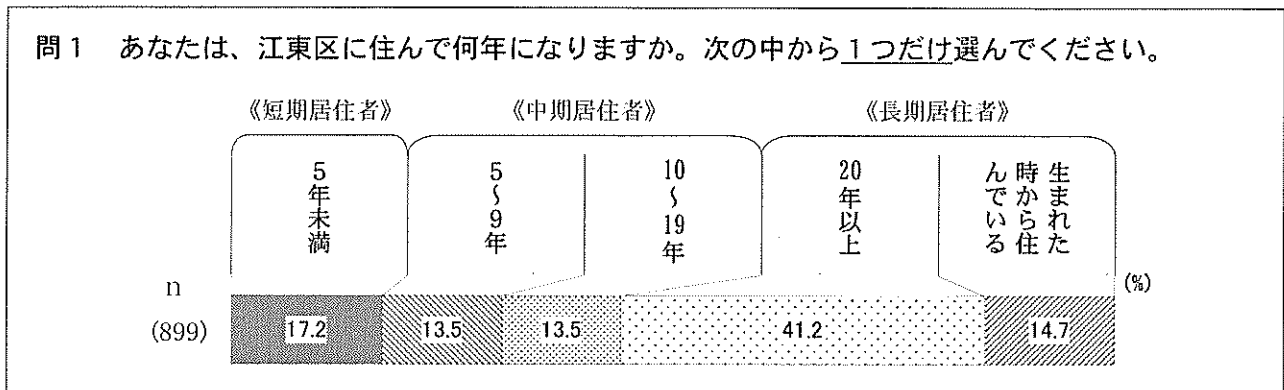
◎分譲マンションが最も多く、次いで一戸  
 建持家（自己所有地）が多い。



# 【1 定住性】

## (1) 居住年数

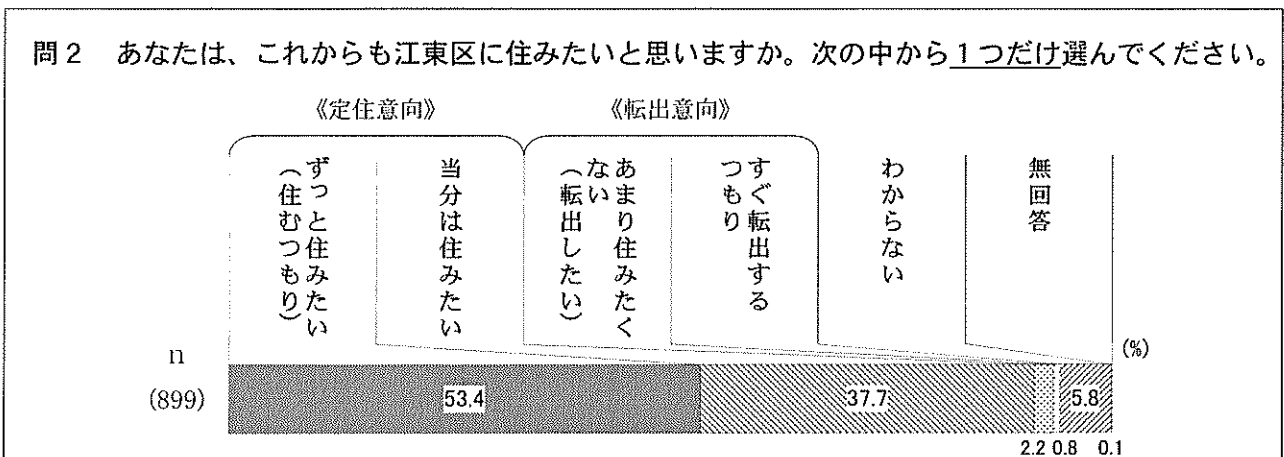
◇《長期居住者》が5割台半ば



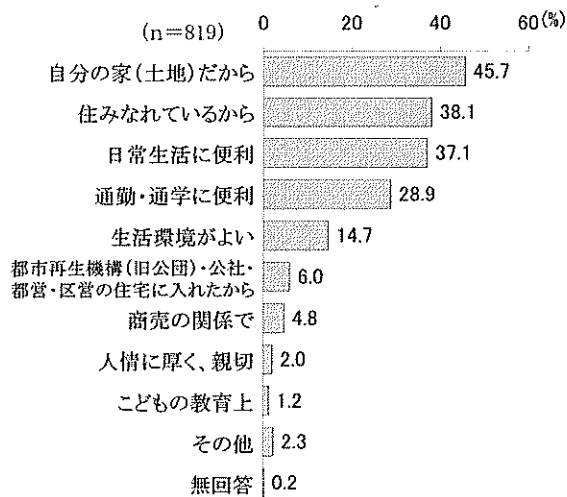
○居住年数は、「20年以上」(41.2%)と「生まれた時から住んでいる」(14.7%)を合わせた《長期居住者》(55.9%)が5割台半ばを占める。

## (2) 定住・転出意向

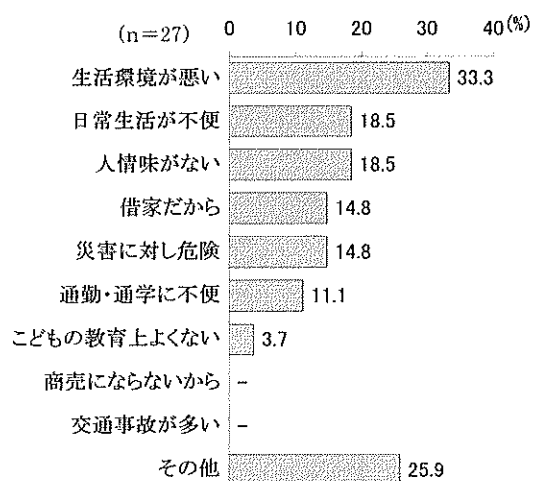
◇《定住意向》が9割を超える



### 【定住意向理由 (複数回答)】 (2つ以内で回答)



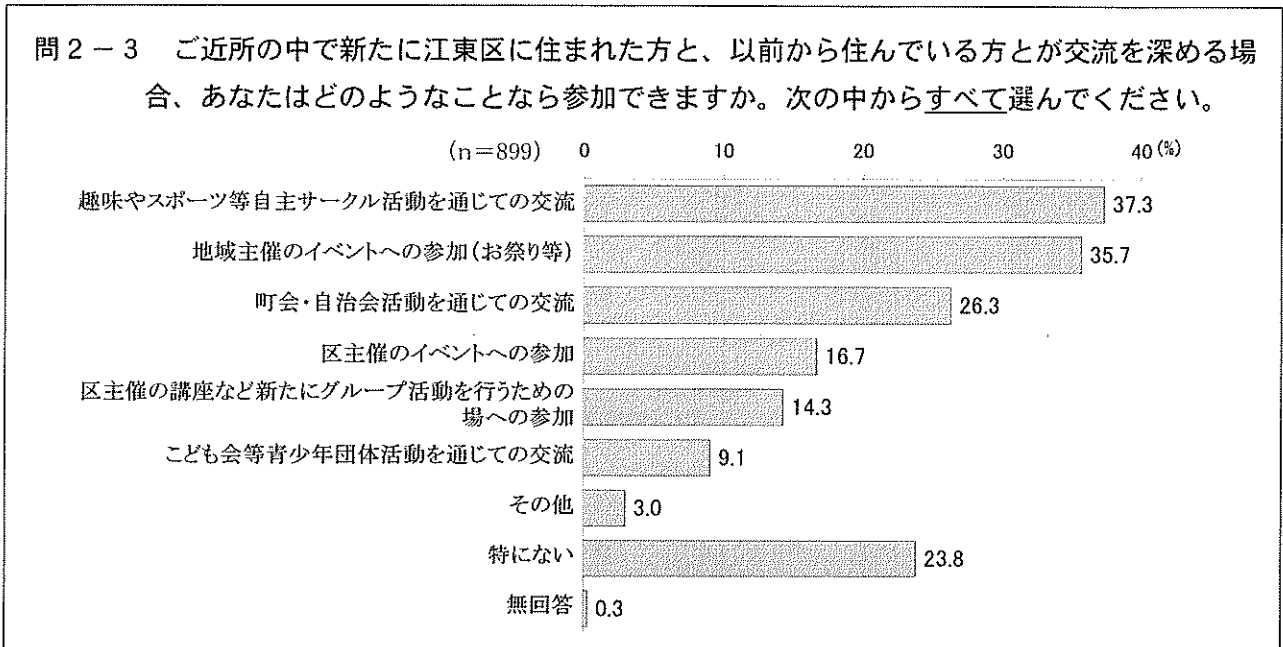
### 【転出意向理由 (複数回答)】 (2つ以内で回答)



○定住・転出意向は、これからも江東区に「ずっと住みたい (住むつもり)」(53.4%)と「当分は住みたい」(37.7%)を合わせた《定住意向》(91.1%)は9割を超えている。

(3) 新たに住んだ区民と以前から住んでいる区民との交流

◇「趣味やスポーツ等自主サークル活動を通じての交流」が4割近く

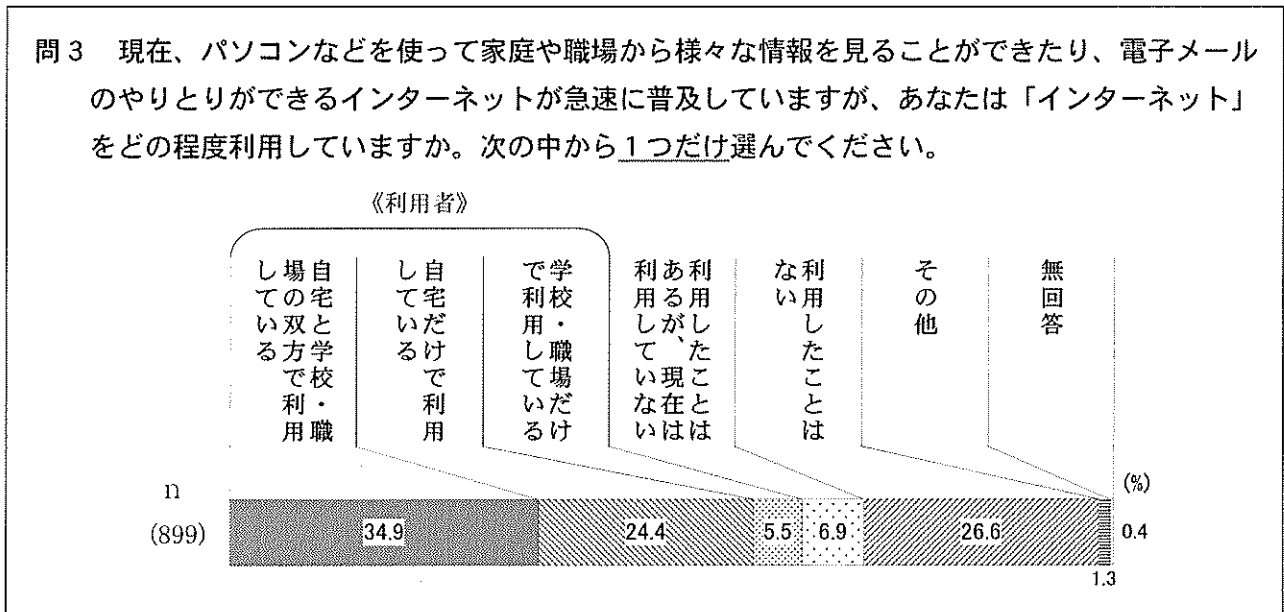


○新たに住んだ区民と以前から住んでいる区民が交流を深めるために参加できることは、「趣味やスポーツ等自主サークル活動を通じての交流」(37.3%)が4割近くで最も高く、「地域主催のイベントへの参加(お祭り等)」(35.7%)が3割台半ばとなっている。

【2 情報化】

(1) インターネットの利用状況

◇《利用者》は6割台半ば



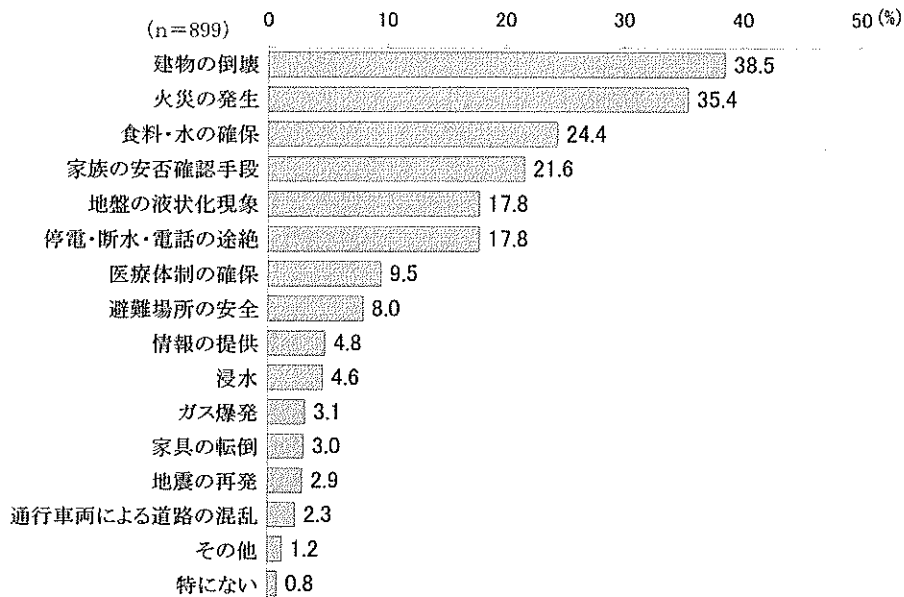
○インターネットの利用状況は、「自宅と学校・職場の双方で利用している」(34.9%)が3割台半ばで最も高く、これと「自宅だけで利用している」(24.4%)、「学校・職場だけで利用している」(5.5%)を合わせた《利用者》(64.8%)は6割台半ばとなる。一方、「利用したことはない」(26.6%)は2割台半ばとなっている。

### 【3 防災対策】

#### (1) 震災時の不安

◇「建物の倒壊」が4割近く

問4 身近に大地震が起きたとして、あなたが特に不安だと思うものを次の中から2つまで選んでください。

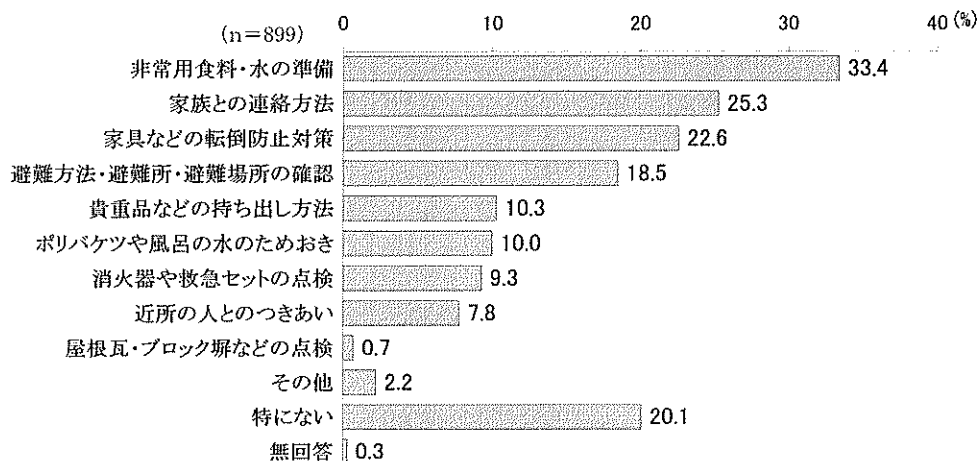


○大地震が起きたら特に不安に思うものは、「建物の倒壊」(38.5%)が4割近くで最も高く、「火災の発生」(35.4%)が3割台半ばで続いている。

#### (2) 震災時の備え

◇「非常用食料・水の準備」が3割を超える

問5 あなたのご家庭で、大地震に備えて普段から特に心掛けていることを次の中から2つまで選んでください。

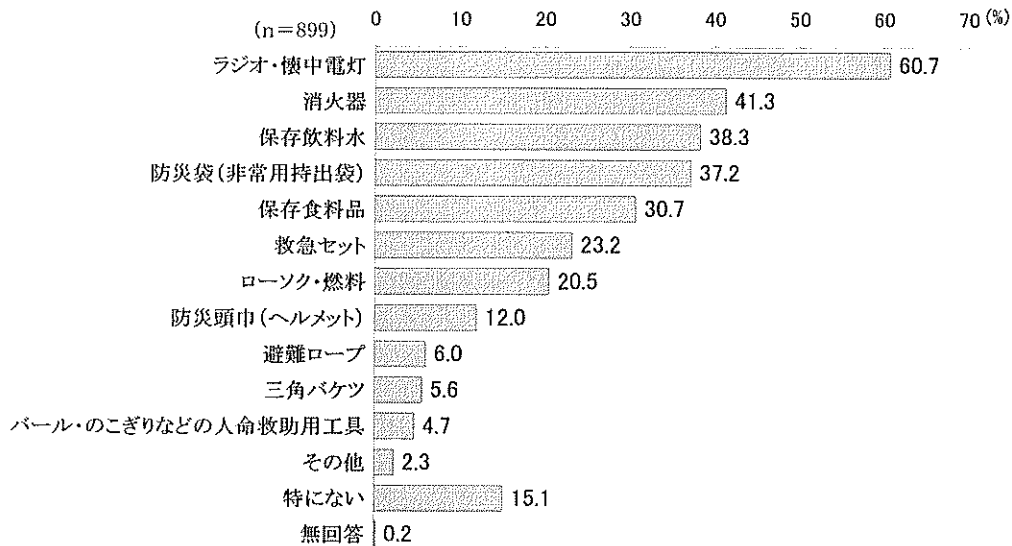


○大地震に備えて普段から特に心掛けていることは、「非常用食料・水の準備」(33.4%)が3割を超えて最も高く、以下、「家族との連絡方法」(25.3%)、「家具などの転倒防止対策」(22.6%)、「避難方法・避難所・避難場所の確認」(18.5%)と続いている。

### (3) 家庭内で準備している防災用品・用具

◇「ラジオ・懐中電灯」がほぼ6割

問6 災害に備え、あなたのご家庭で現在準備している防災用品および用具を、次の中からいくつでも選んでください。

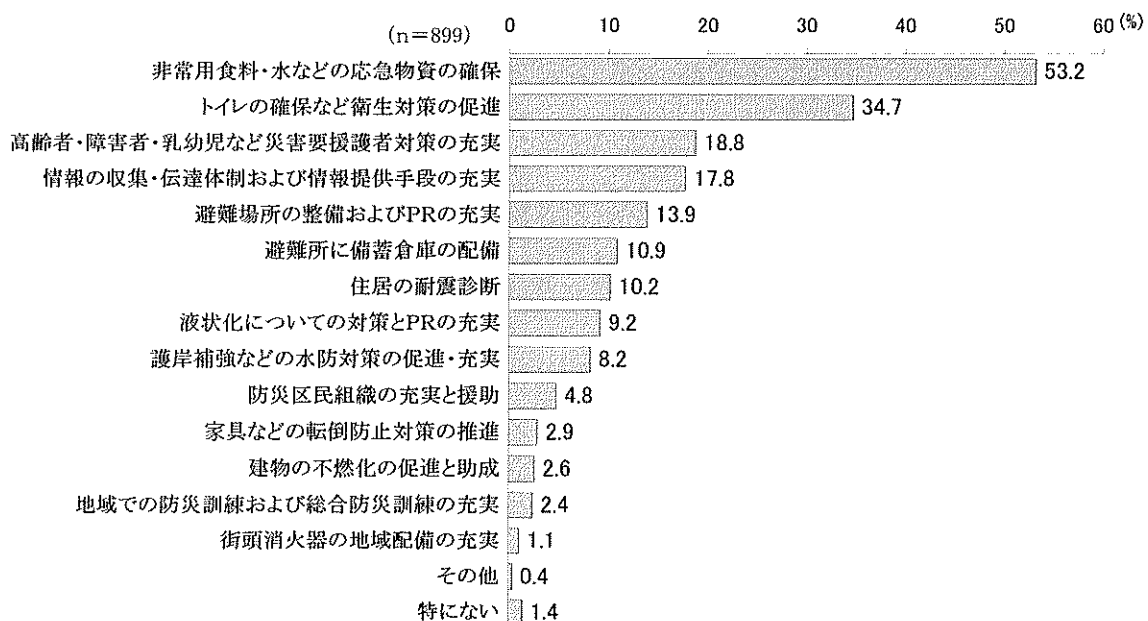


○災害に備えて準備している防災用品および用具は、「ラジオ・懐中電灯」(60.7%)がほぼ6割と高く、以下、「消火器」(41.3%)、「保存飲料水」(38.3%)、「防災袋(非常用持出袋)」(37.2%)、「保存食料品」(30.7%)と続いている。

### (4) 防災対策への要望

◇「非常用食料・水などの応急物資の確保」が半数を超える

問7 あなたが、大地震の際の防災対策として、江東区に特に力を入れてほしいことを次の中から2つまで選んでください。

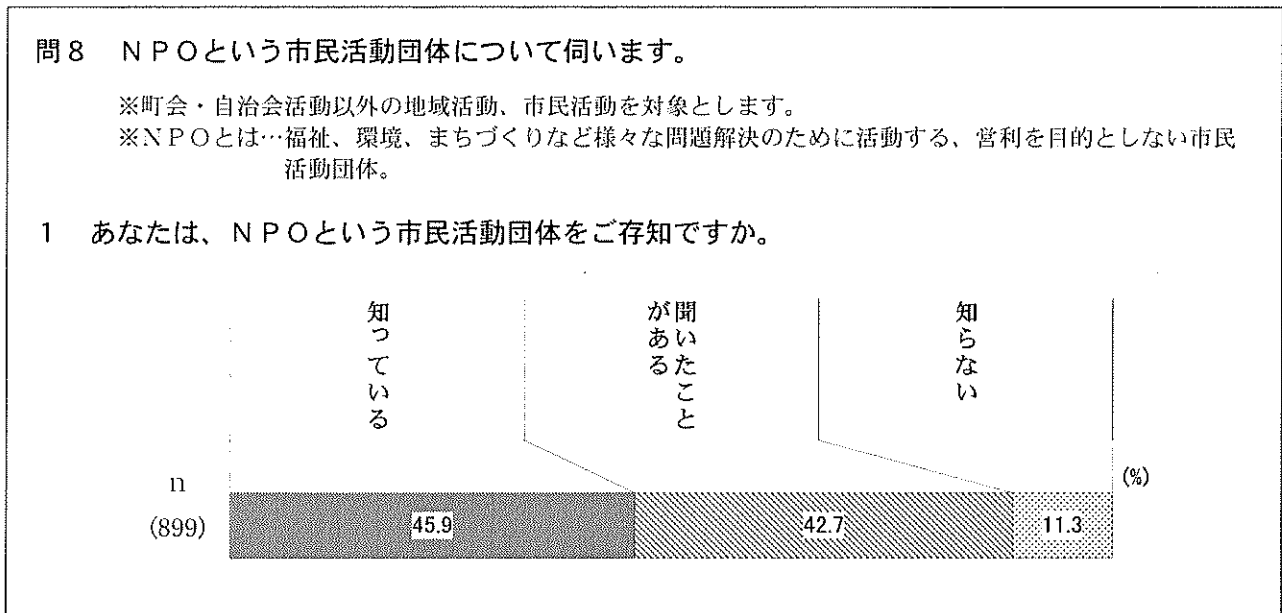


○大地震の際の防災対策として、江東区に特に力を入れてほしいことは、「非常用食料・水などの応急物資の確保」(53.2%)が半数を超えて最も高く、「トイレの確保など衛生対策の促進」(34.7%)が3割半ばでこれに次いでいる。

## 【4 NPO】

### (1) NPOの認知状況

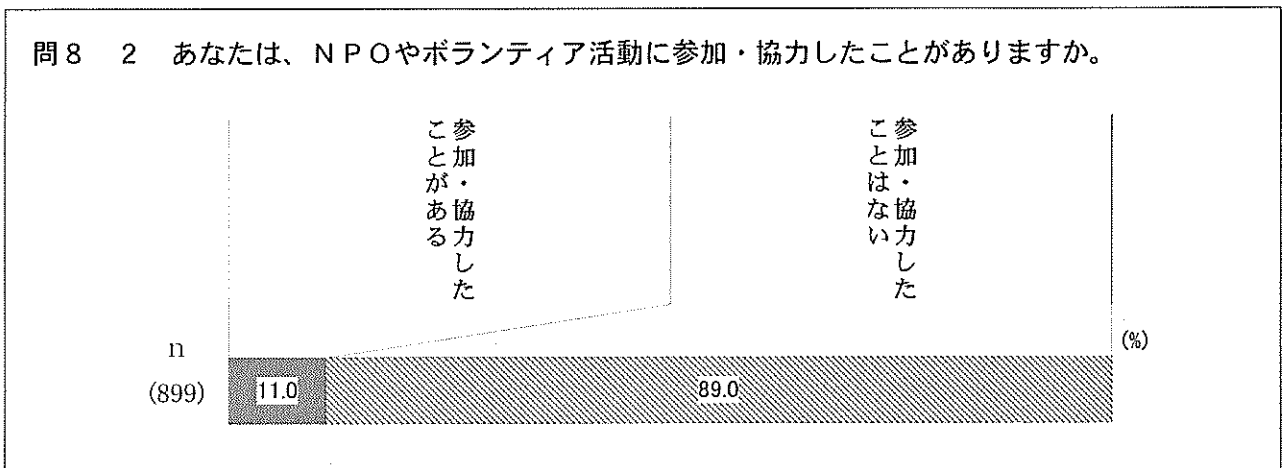
◇「知っている」が4割台半ば



○NPOを「知っている」(45.9%)と回答したのは4割台半ば、また、「聞いたことがある」(42.7%)は4割を超える。両者を合わせると9割近くの人が少なくとも名称は知っていることになる。

### (2) NPOやボランティア活動への参加・協力状況

◇「参加・協力したことはない」がほぼ9割



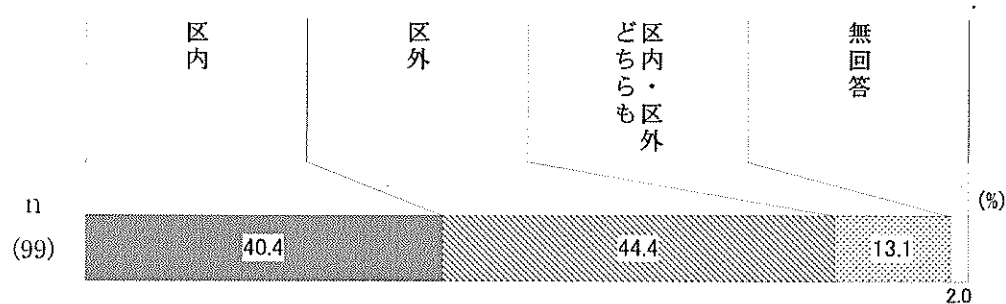
○NPOやボランティア活動への参加・協力状況は、「参加・協力したことはない」(89.0%)がほぼ9割を占めている。

### (3) NPOやボランティア活動に参加・協力した場所

◇「区外」と「区内」が4割を超える

(問8 2で「1 参加・協力したことがある」とお答えの方に)

問8 3 NPOやボランティア活動に参加・協力した主な場所はどこですか。



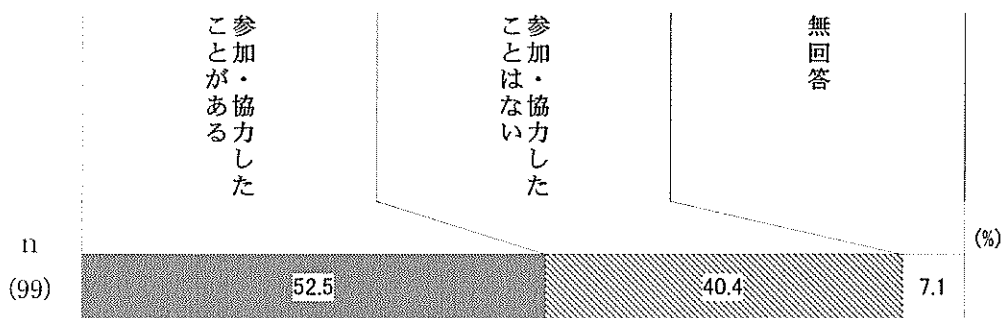
○「参加・協力したことがある」と回答した人が、参加・協力した主な場所は、「区外」(44.4%)と「区内」(40.4%)の2つがそれぞれ4割以上を占め、「区内・区外どちらも」(13.1%)は1割を超えている。

### (4) NPO主体の活動への参加・協力状況

◇「参加・協力したことがある」が半数を超える

(問8 2で「1 参加・協力したことがある」とお答えの方に)

問8 4 2のうち、NPOが主体となる活動に参加・協力したことがありますか。



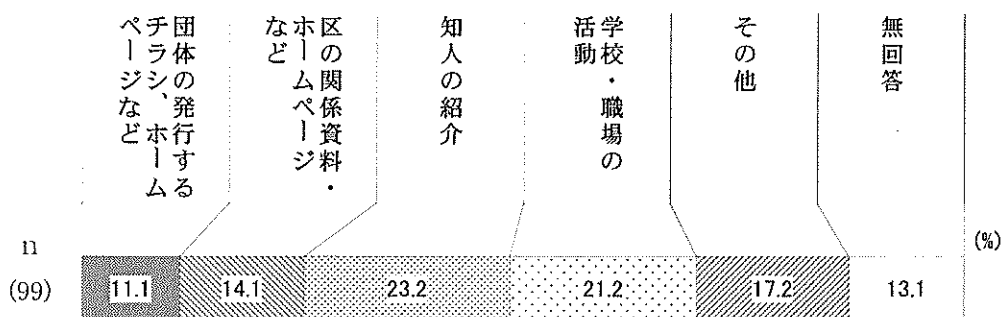
○「参加・協力したことがある」と回答した人のNPO主体の活動への参加・協力状況は、「参加・協力したことがある」(52.5%)が半数を超えている。

(5) NPOやボランティア活動に参加するきっかけ

◇「知人の紹介」と「学校・職場の活動」が2割を超える

(問8 2で「1 参加・協力したことがある」とお答えの方に)

問8 5 NPOやボランティア活動に参加するきっかけはどのようなことでしたか。主なものを1つだけ選んでください。



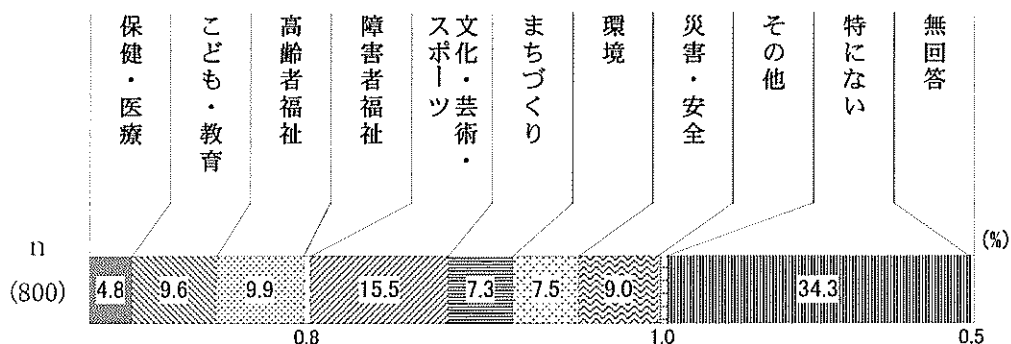
○「参加・協力したことがある」と回答した人の参加のきっかけは、「知人の紹介」(23.2%)と「学校・職場の活動」(21.2%)が2割を超えている。

(6) NPOやボランティア活動に参加・協力したい分野

◇「文化・芸術・スポーツ」が1割台半ば

(問8 2で「2 参加・協力したことはない」とお答えの方に)

問8 6 あなたは、今後NPOやボランティアの活動のどのような分野で参加・協力したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。



○NPOやボランティア活動へ「参加・協力したことはない」と回答した人が今後参加・協力したい分野は、「文化・芸術・スポーツ」(15.5%)が1割台半ば、以下、「高齢者福祉」(9.9%)、「こども・教育」(9.6%)、「災害・安全」(9.0%)と続いているが、3人に1人は「特にない」(34.3%)と回答している。

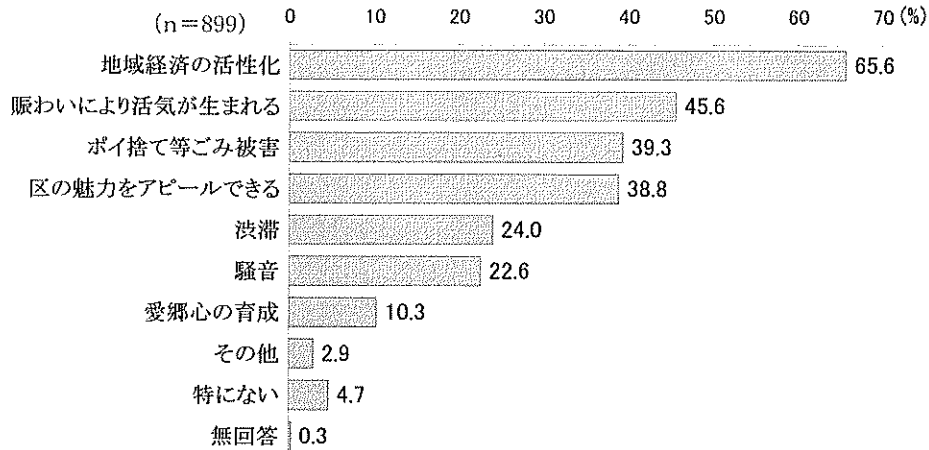


## 【5 観光】

### (1) 区が観光事業を推進した場合の効果・影響

◇「地域経済の活性化」が6割台半ば

問9 区が観光事業を推進すると、どんな効果・影響があると思いますか。次の中から3つまで選んでください。

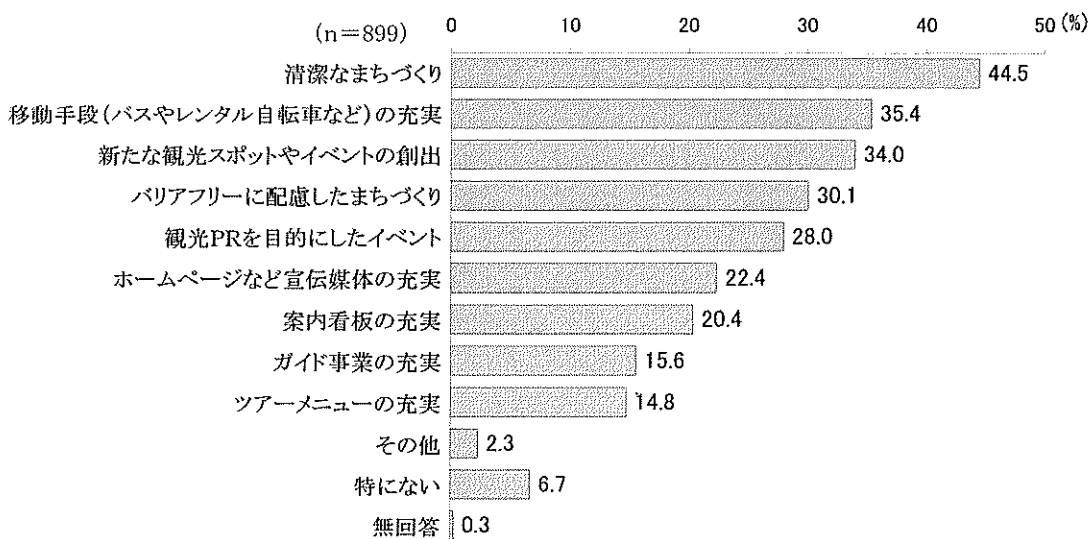


○区が観光事業を推進した場合の効果・影響は、「地域経済の活性化」(65.6%)が6割台半ばで最も高く、以下、「賑わいにより活気が生まれる」(45.6%)、「ポイ捨て等ごみ被害」(39.3%)、「区の魅力をアピールできる」(38.8%)が続いている。

### (2) 観光しやすく観光を楽しめる江東区になるために必要な事業

◇「清潔なまちづくり」が4割台半ば

問10 観光しやすく、観光を楽しめる江東区になるために、どんな事業が必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。



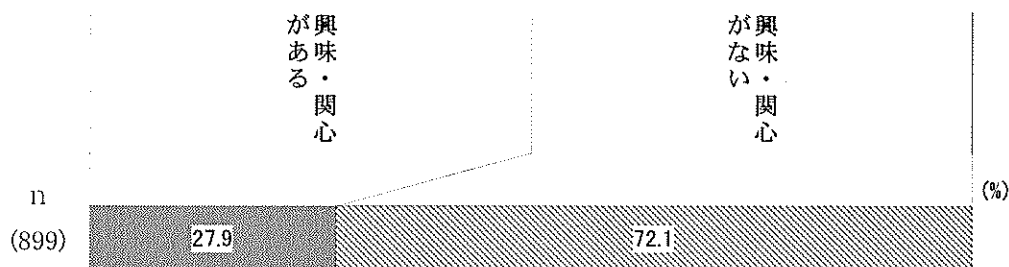
○観光しやすく、観光を楽しめるために必要な事業は、「清潔なまちづくり」(44.5%)が4割台半ばで最も高くなっている。以下、「移動手段(バスやレンタル自転車など)の充実」(35.4%)、「新たな観光スポットやイベントの創出」(34.0%)、「バリアフリーに配慮したまちづくり」(30.1%)が3割を超えている。

### (3) 観光ボランティア

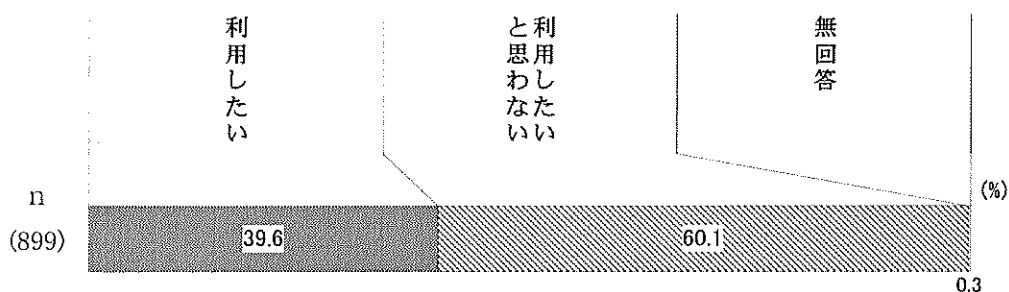
- ◇観光ボランティアになることへ「興味・関心がある」は3割近く  
観光ボランティアを「利用したい」は4割

問11 区では、区の歴史や観光スポットの知識を習得したガイドが観光案内をする観光ボランティアの制度設置を検討しています。あなたは、観光ボランティアに関してどのように思いますか。

#### 【観光ボランティアになることへの興味・関心】



#### 【観光ボランティアの利用意向】

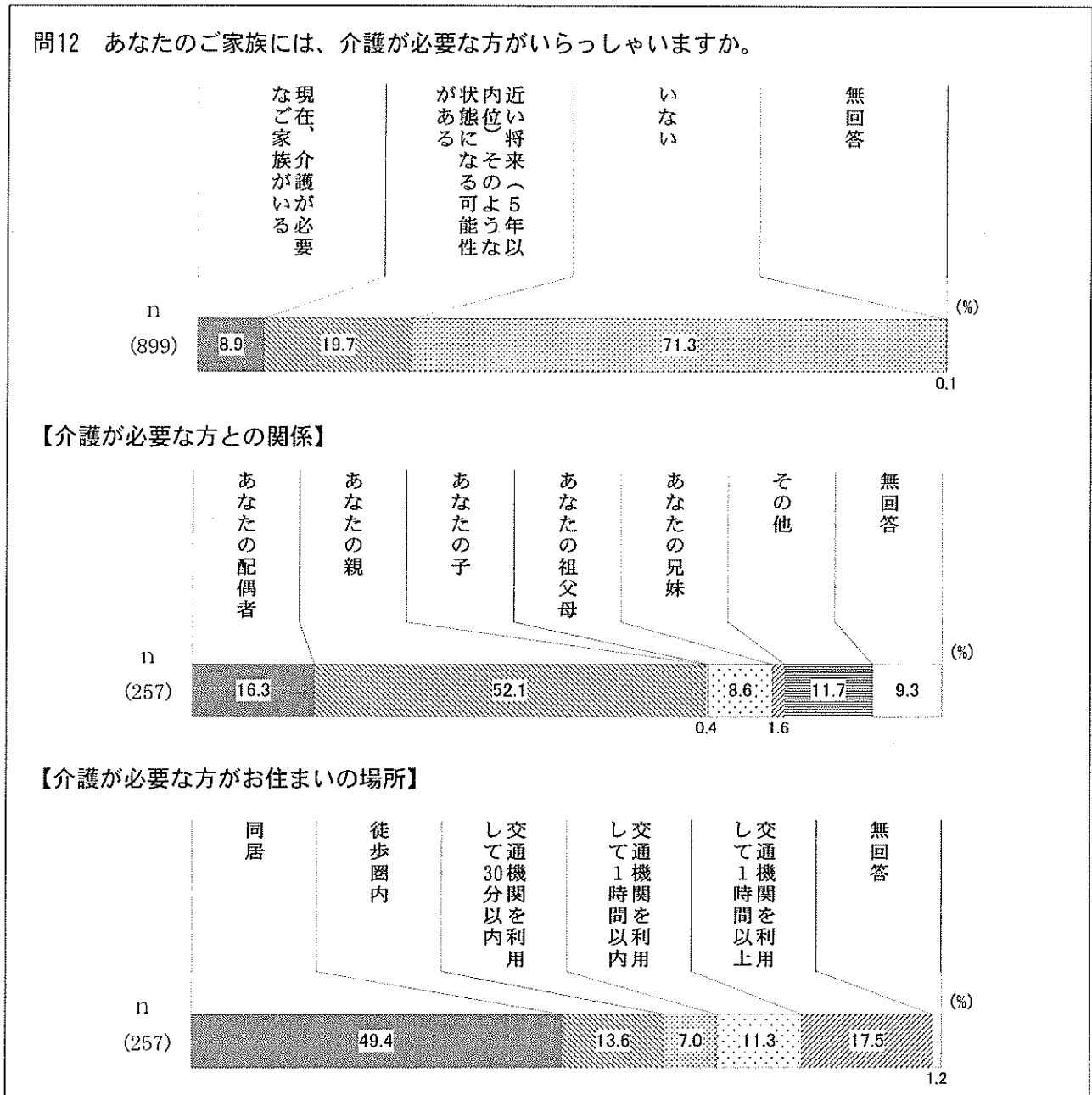


- 観光ボランティアになることへの興味・関心は、「興味・関心がない」(72.1%)が7割以上を占め、「興味・関心がある」(27.9%)は3割近くとなっている。
- 観光ボランティアの利用意向は、「利用したいと思わない」(60.1%)が6割、「利用したい」が4割となっている。

## 【6 高齢福祉】

### (1) 介護が必要な家族の有無

◇「現在介護が必要」は1割近く、「近い将来必要」は2割

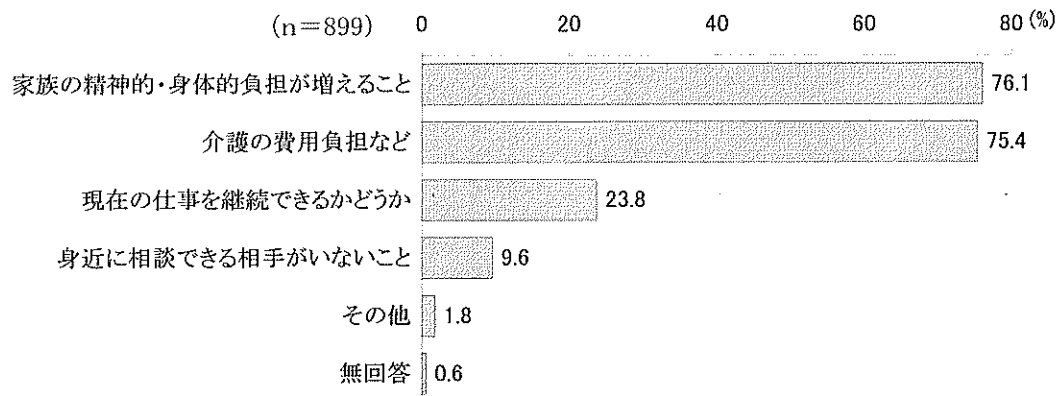


- 介護が必要な家族の有無は、「現在、介護が必要なご家族がいる」(8.9%)が1割近く、「近い将来(5年以内位)そのような状態になる可能性がある」(19.7%)が2割となっており、この2つを合わせると3割近くが現在、または近い将来に介護が必要な家族がいることになる。
- 「現在、介護が必要なご家族がいる」または「近い将来(5年以内位)そのような状態になる可能性がある」と回答した人の家族は、「あなたの親」(52.1%)が過半数を占め、「あなたの配偶者」(16.3%)が1割台半ば、「あなたの祖父母」(8.6%)が1割近くとなっている。
- 「現在、介護が必要なご家族がいる」または「近い将来(5年以内位)そのような状態になる可能性がある」と回答した人の家族の住まいは、「同居」(49.4%)がほぼ半数を占め、以下、「交通機関を利用して1時間以上」(17.5%)、「徒歩圏内」(13.6%)、「交通機関を利用して1時間以内」(11.3%)と続いている。

## (2) 介護が必要になった時心配なこと

◇「家族の精神的・身体的負担が増えること」と「介護の費用負担など」が7割台半ば

問13 ご自身、ご家族を問わず介護が必要になった時、心配に思うことはありますか。次の中から2つまで選んでください。

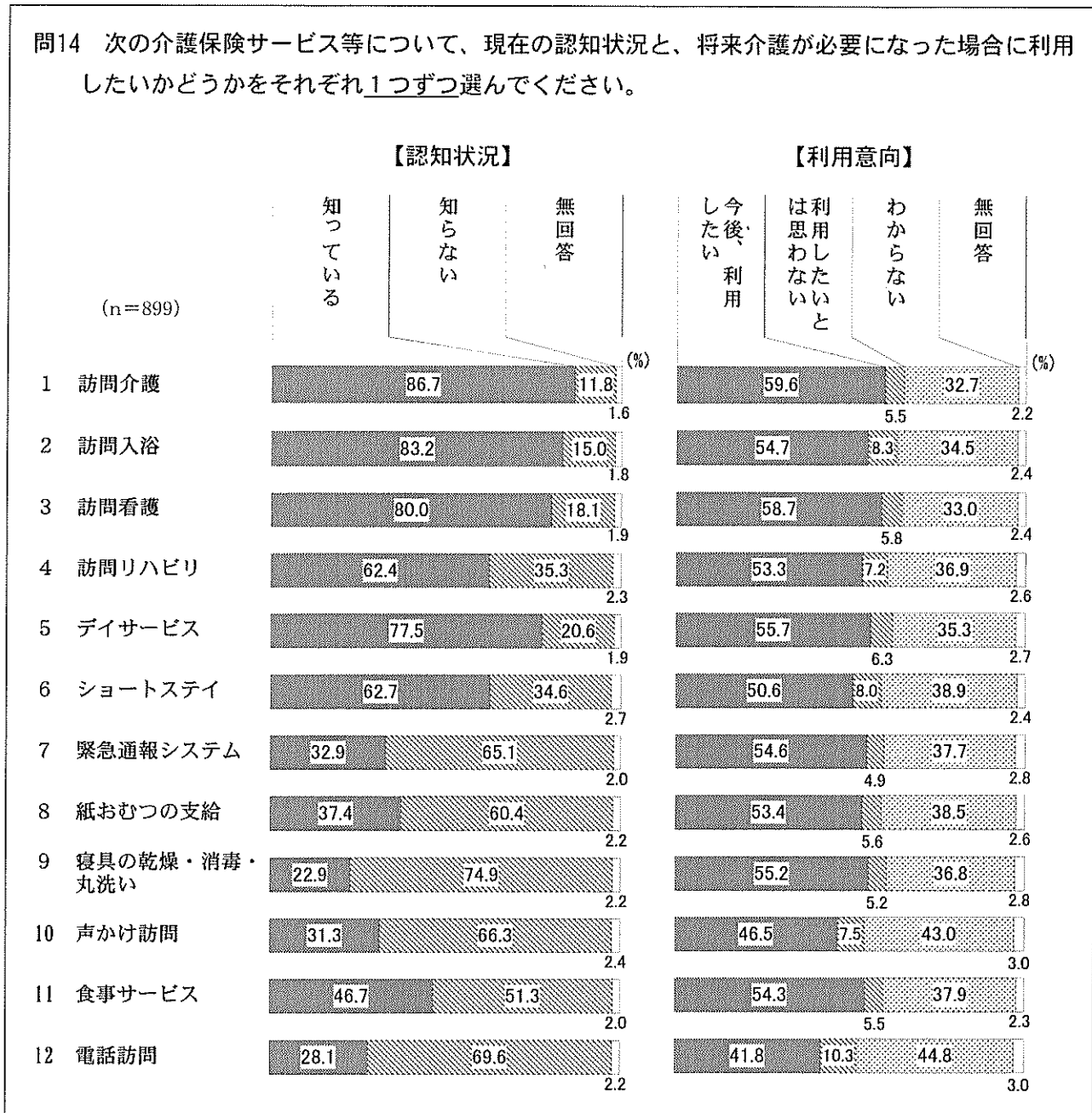


○自分自身や家族が介護が必要になった場合に心配なことは、「家族の精神的・身体的負担が増えること」(76.1%)と「介護の費用負担など」(75.4%)が7割台半ばと高く、「現在の仕事を継続できるかどうか」(23.8%)は2割を超えている。

### (3) 介護保険サービス等の認知状況・利用意向

◇認知率は「訪問介護」「訪問入浴」「訪問看護」が8割台

問14 次の介護保険サービス等について、現在の認知状況と、将来介護が必要になった場合に利用したいかどうかをそれぞれ1つずつ選んでください。

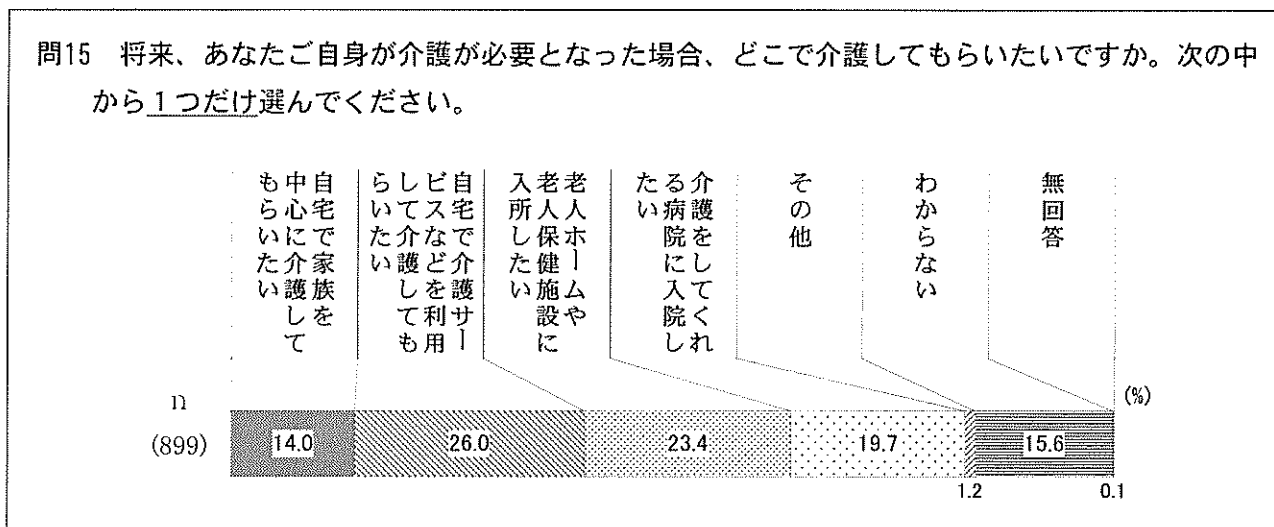


○介護保険の各サービス等の認知状況は、「訪問介護」（86.7%）、「訪問入浴」（83.2%）、「訪問看護」（80.0%）で8割台と高く、以下、「デイサービス」（77.5%）、「ショートステイ」（62.7%）、「訪問リハビリ」（62.4%）と続き、介護保険以外のサービスはいずれも半数未満となっている。

○将来介護が必要になった場合の利用意向については、各サービス間で認知状況ほどの差はない。「今後、利用したい」は「訪問介護」（59.6%）が6割、「訪問看護」（58.7%）が6割近くで比較的高くなっている。

#### (4) 将来、介護してもらいたい場所

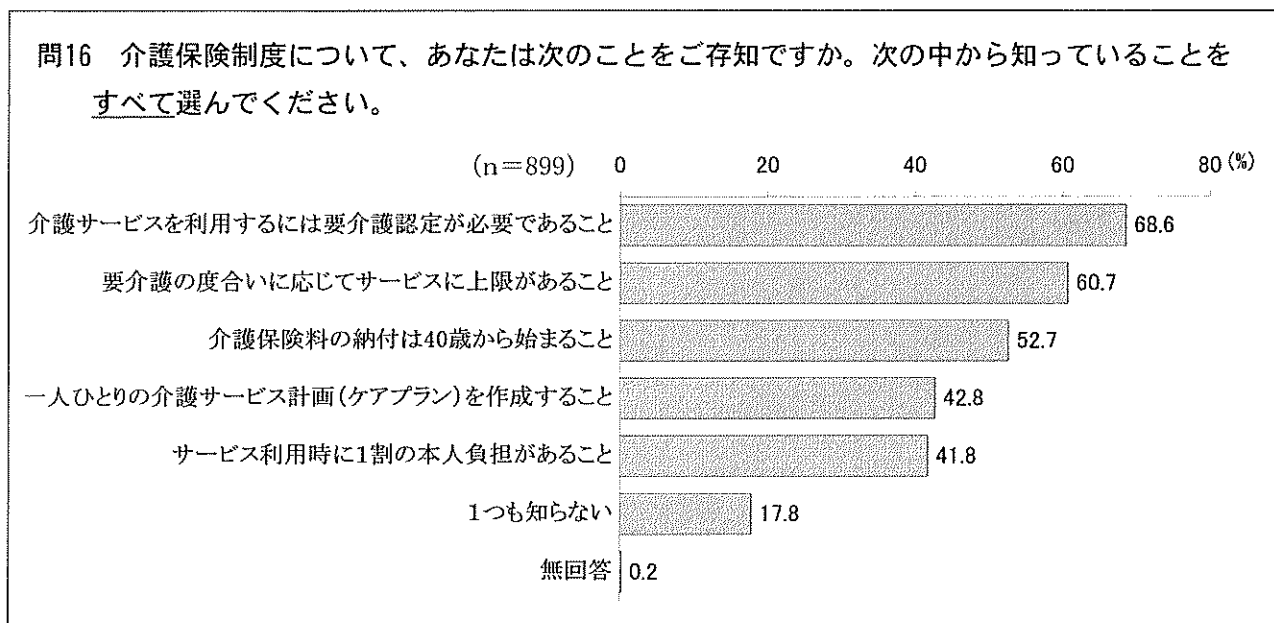
◇「自宅で介護サービスなどを利用して介護してもらいたい」が2割台半ば



○将来、自分自身の介護が必要となった場合に、介護してもらいたい場所は、「自宅で介護サービスなどを利用して介護してもらいたい」(26.0%)が2割台半ばで最も高く、「老人ホームや老人保健施設に入所したい」(23.4%)も2割を超えている。「介護をしてくれる病院に入院したい」(19.7%)は2割、「自宅で家族を中心に介護してもらいたい」(14.0%)は1割台半ばとなっている。

#### (5) 介護保険の内容認知状況

◇「介護サービスを利用するには要介護認定が必要であること」が7割近く



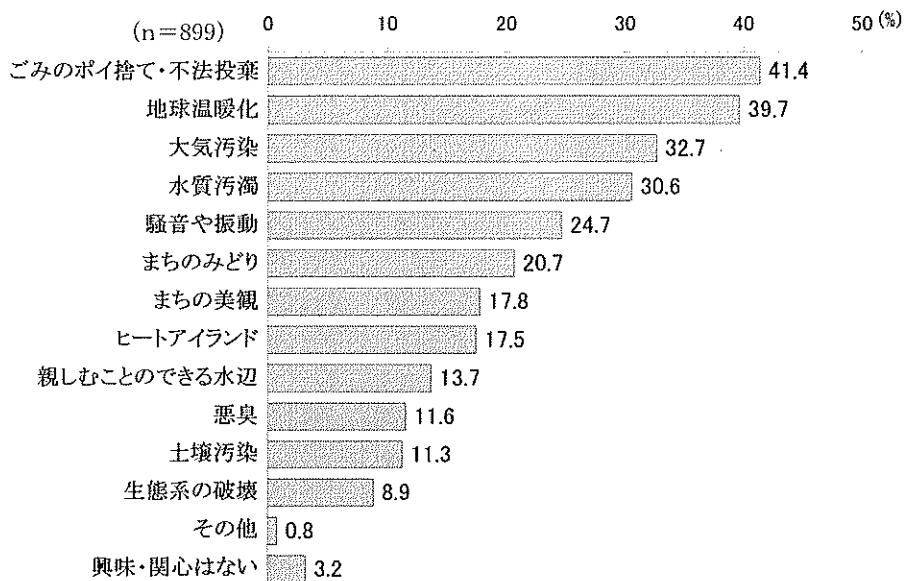
○介護保険制度に関して知っている内容は、「介護サービスを利用するには要介護認定が必要であること」(68.6%)が7割近くで最も高く、以下、「要介護の度合いに応じてサービスに上限があること」(60.7%)、「介護保険料の納付は40歳から始まること」(52.7%)と続き、他はいずれも半数未満となっている。

## 【7 環境】

### (1) 興味・関心がある環境問題

◇「ごみのポイ捨て・不法投棄」と「地球温暖化」が4割前後

問17 あなたは、区の環境に影響を与えると考えられるさまざまな問題の中で、どのような環境問題に興味・関心がありますか。次の中から3つまで選んでください。

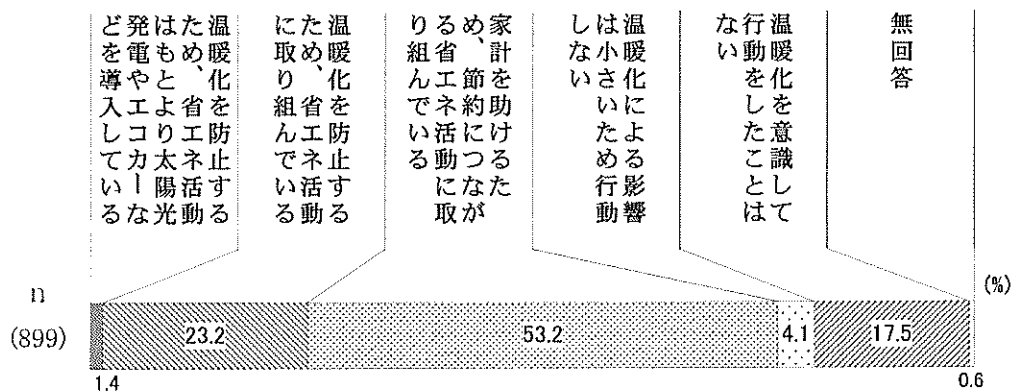


○興味・関心がある環境問題は、「ごみのポイ捨て・不法投棄」(41.4%)と「地球温暖化」(39.7%)の2つが4割前後と高く、次いで「大気汚染」(32.7%)、「水質汚濁」(30.6%)、「騒音や振動」(24.7%)、「まちのみどり」(20.7%)と続いている。

### (2) 省エネ行動などへの取り組み

◇「家計を助けるため、節約につながる省エネ活動に取り組んでいる」が過半数

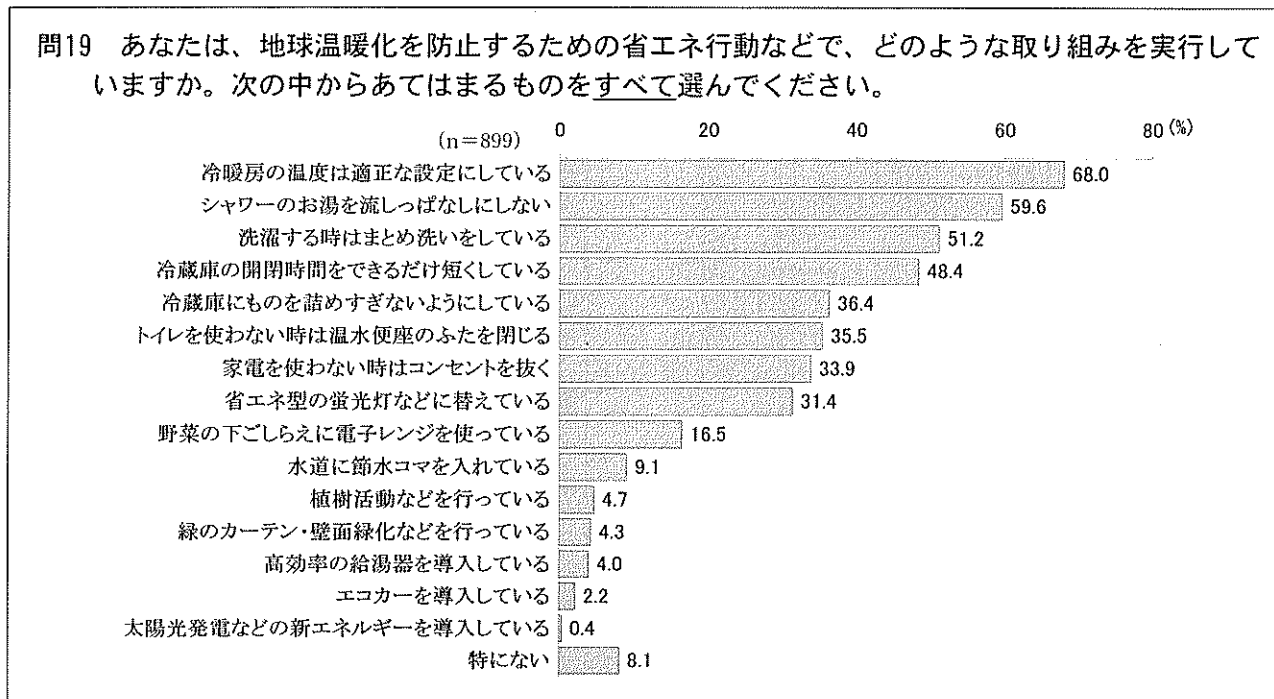
問18 あなたは、地球温暖化の防止を意識して、省エネ行動などに取り組んでいますか。最も近いものを1つだけ選んでください。



○地球温暖化の防止を意識した省エネ行動への取り組み状況は、「家計を助けるため、節約につながる省エネ活動に取り組んでいる」(53.2%)が過半数を占め、次いで「温暖化を防止するため、省エネ活動に取り組んでいる」(23.2%)が2割を超えている。一方、「温暖化を意識して行動をしたことはない」(17.5%)が2割近くとなっている。

### (3) 取り組んでいる省エネ行動など

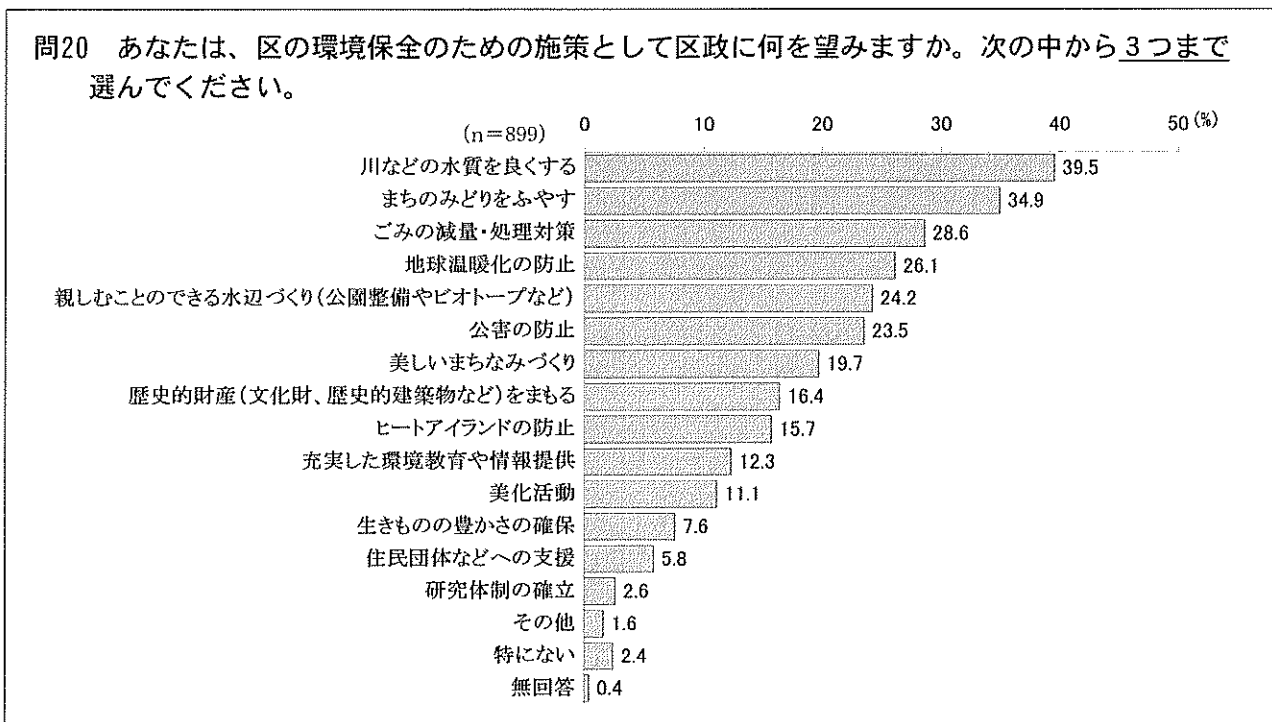
◇「冷暖房の温度は適正な設定にしている」が7割近く



○実行している省エネ行動は、「冷暖房の温度は適正な設定にしている」(68.0%)が7割近くで最も高く、以下、「シャワーのお湯を流しっぱなしにしない」(59.6%)、「洗濯する時はまとめ洗いをしている」(51.2%)、「冷蔵庫の開閉時間をできるだけ短くしている」(48.4%)、「冷蔵庫にもものを詰めすぎないようにしている」(36.4%)と続いている。

### (4) 区政に望む環境保全施策

◇「川などの水質を良くする」が4割



○環境保全のために区政に望む施策は、「川などの水質を良くする」(39.5%)が4割で最も高く、以下、「まちのみどりをふやす」(34.9%)、「ごみの減量・処理対策」(28.6%)、「地球温暖化の防止」(26.1%)、「親しむことのできる水辺づくり(公園整備やピオトープなど)」(24.2%)と続いている。



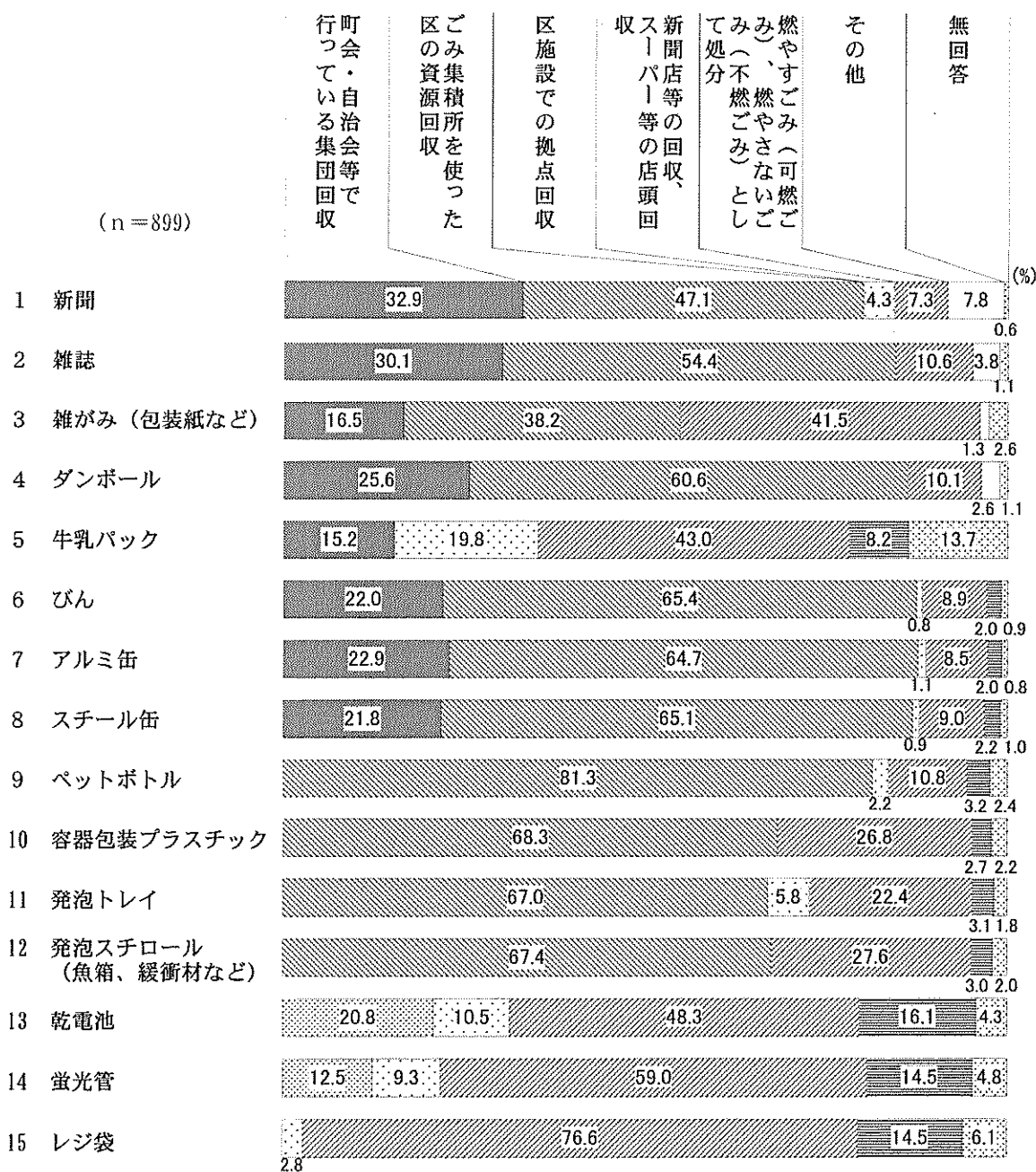
## 【8 清掃リサイクル】

### (1) 資源物の処分方法

◇「ごみ集積所を使った区の資源回収」の利用率が高い

問21 あなたのご家庭では、資源物を主にどの方法で処分していますか。次の1から15のそれぞれについて、1つずつ選んでください。

(n=899)



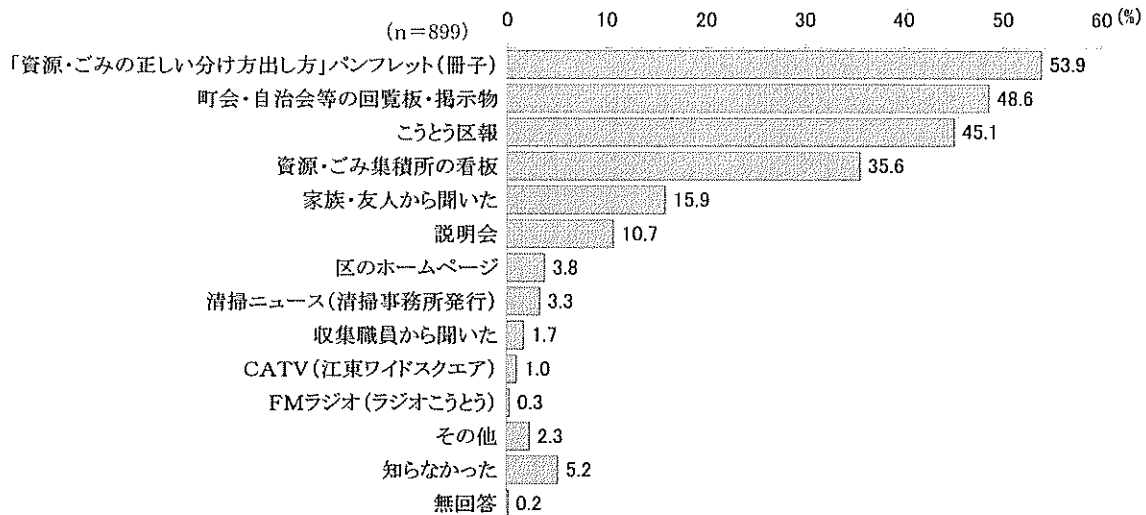
○資源物の主な処理方法は、「ごみ集積所を使った区の資源回収」が行われている場合は、いずれもこれを利用する割合が特に高くなっている。ただし、「雑がみ(包装紙など)」は「燃やすごみ(可燃ごみ)、燃やさないごみ(不燃ごみ)として処分」(41.5%)の方がやや高い。一方、「ごみ集積所を使った区の資源回収」が行われていない場合は、「燃やすごみ(可燃ごみ)、燃やさないごみ(不燃ごみ)として処分」される割合が高く、「蛍光管」(59.0%)はほぼ6割、「乾電池」(48.3%)や「牛乳パック」(43.0%)は4割以上がごみとして扱われている。

## (2) 資源とごみの分別方法が変わったことを知った方法

◇『資源・ごみの正しい分け方出し方』パンフレット（冊子）」が半数を超える

問22 資源の有効利用と最終処分場の延命化を図るため、平成21年3月30日から区内全域で資源とごみの分別方法が変わりました。新たに「容器包装プラスチック」と「発泡スチロール」を資源回収すると同時に、資源として回収できない「プラスチック製品」、「ゴム製品」、「革製品」を従来の可燃ごみに含めて「燃やすごみ」として収集しています。

資源とごみの分別方法が変わったことを何で知りましたか。次の中からすべて選んでください。

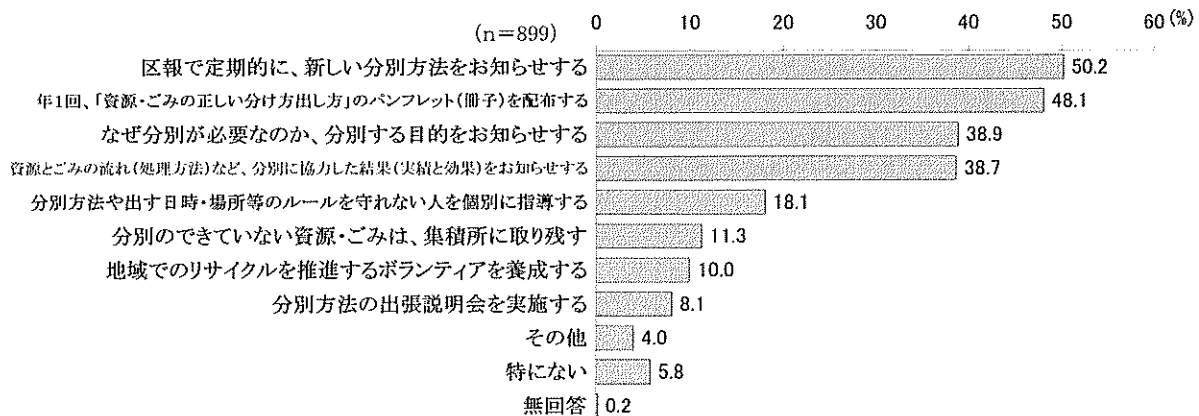


○資源とごみの分別の仕方の変更を知った方法は、『資源・ごみの正しい分け方出し方』パンフレット（冊子）」(53.9%)が過半数で最も高く、以下、「町会・自治会等の回覧板・掲示物」(48.6%)、「こうとう区報」(45.1%)、「資源・ごみ集積所の看板」(35.6%)、「家族・友人から聞いた」(15.9%)と続いている。

## (3) 資源とごみの分別方法の周知のために行うべきこと

◇「区報で定期的に、新しい分別方法をお知らせする」と「年1回、『資源・ごみの正しい分け方出し方』のパンフレット（冊子）を配布する」が半数前後

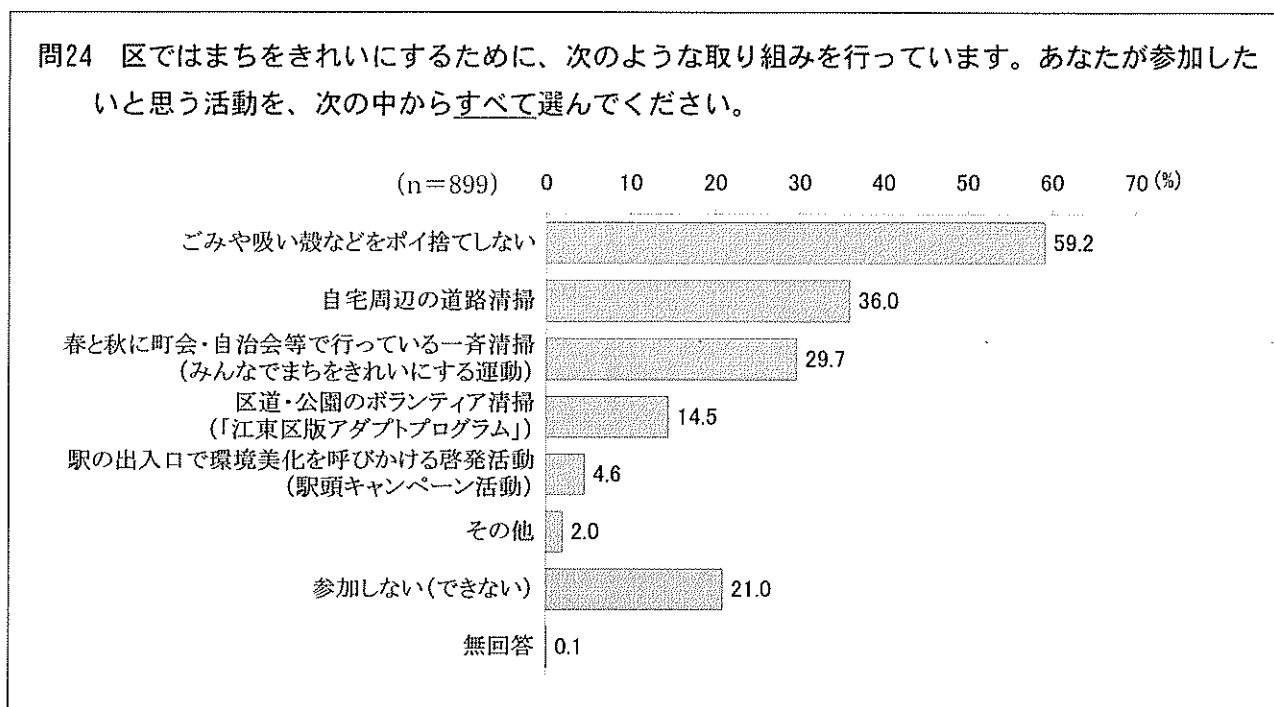
問23 新しい資源とごみの分別方法の周知に向けて、区は何を重点的に行うべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。



○新しい資源とごみの分別方法の周知のために、区が重点的に行うべきことは、「区報で定期的に、新しい分別方法をお知らせする」(50.2%)と「年1回、『資源・ごみの正しい分け方出し方』のパンフレット（冊子）を配布する」(48.1%)が半数前後で高い。以下、「なぜ分別が必要なのか、分別する目的をお知らせする」(38.9%)と「資源とごみの流れ(処理方法)など、分別に協力した結果(実績と効果)をお知らせする」(38.7%)が4割近くとなっている。

#### (4) まちの美化活動への参加意向

◇「ごみや吸い殻などをポイ捨てしない」がほぼ6割



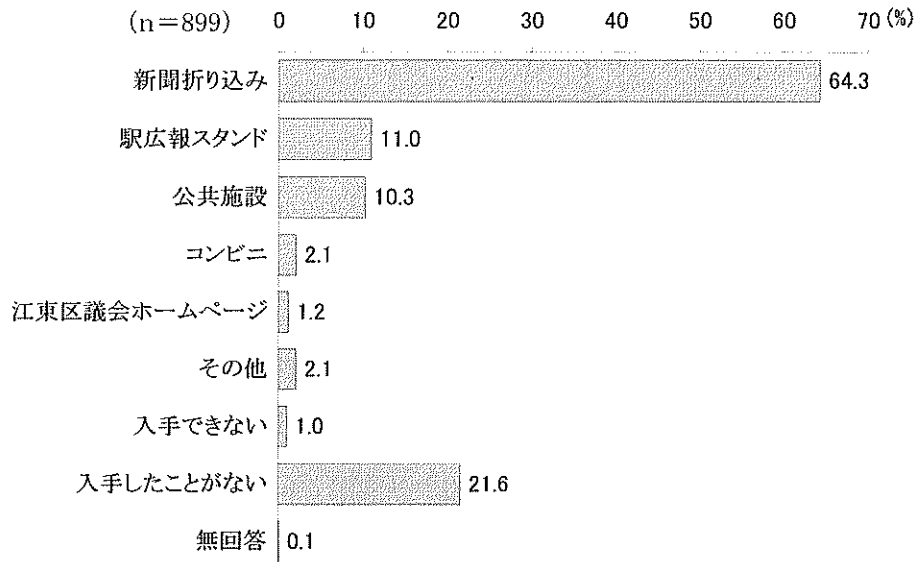
○まちをきれいにするために参加したいと思う活動は、「ごみや吸い殻などをポイ捨てしない」(59.2%)がほぼ6割と高くなっている。以下、「自宅周辺の道路清掃」(36.0%)、「春と秋に町会・自治会等で行っている一斉清掃(みんなでまちをきれいにする運動)」(29.7%)などが続く。一方、「参加しない(できない)」(21.0%)はほぼ2割となっている。

## 【9 こうとう区議会だより】

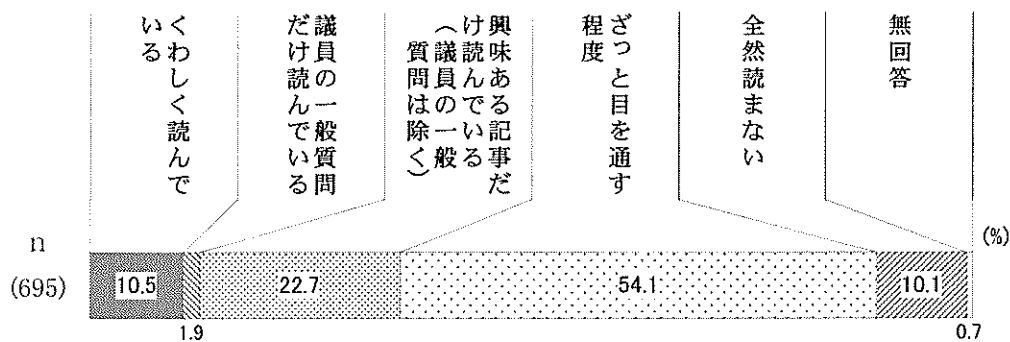
### (1) 「こうとう区議会だより」の入手方法、閲読状況

◇「新聞折り込み」が6割台半ば

問25 「こうとう区議会だより」の入手方法は、新聞折り込み、各交通機関の駅広報スタンド、コンビニ、公共施設（図書館・出張所など）がありますが、どのような方法で入手されていますか。次の中から2つまで選んでください。



### 【「こうとう区議会だより」の閲読状況】



○「こうとう区議会だより」の入手方法は、「新聞折り込み」（64.3%）が6割台半ばと特に高く、「駅広報スタンド」（11.0%）と「公共施設」（10.3%）が1割を超えている。一方、「入手したことがない」（21.6%）は2割を超えている。

○「こうとう区議会だより」を入手している人の閲読状況は、「ざっと目を通す程度」（54.1%）が5割台半ばを占め、「興味ある記事だけ読んでいる（議員の一般質問は除く）」（22.7%）が2割を超えている。

## 【10 長期基本計画】

### (1) 過去1年間に参加した生涯学習・スポーツ

◇《参加経験者》は“伝統文化・芸能（祭りなど）”が最も高い

問26 あなたは、この1年間に次の各分野の学習活動や講座、地域の集まりなどに参加したことがありますか。次の1から12の各分野ごとに1つずつ選んでください。

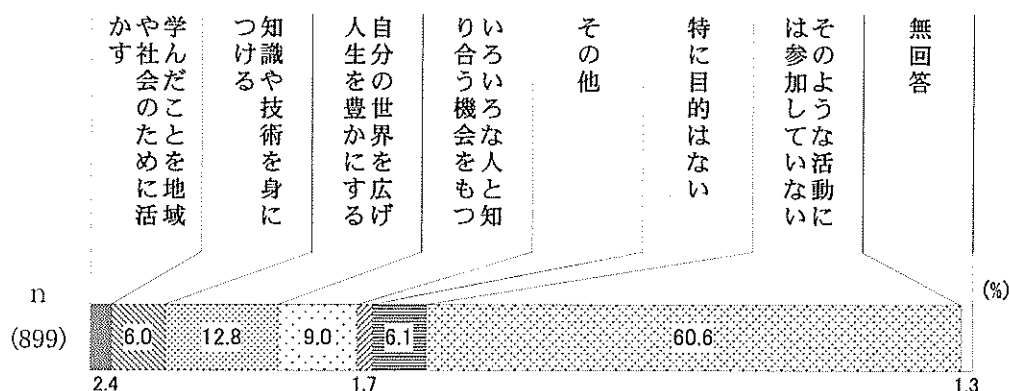
(n=899)	初めて参加	以前から参加	参加しない	(無回答)
1 趣味（茶道・生け花・書道など）	0.7%	3.7%	95.0%	0.7%
2 パソコン	0.9%	0.9%	97.6%	0.7%
3 娯楽（囲碁・将棋など）	0.7%	1.1%	97.6%	0.7%
4 教養（語学・歴史・文学など）	2.3%	2.2%	94.8%	0.7%
5 芸術・文化（絵画・音楽など）	1.2%	4.1%	94.1%	0.6%
6 職業・技術（資格取得）	0.8%	0.9%	97.7%	0.7%
7 国際理解・国際協力	0.2%	0.4%	98.7%	0.7%
8 ボランティア活動	1.1%	3.3%	94.9%	0.7%
9 NPO活動	0.6%	1.4%	97.1%	0.9%
10 伝統文化・芸能（祭りなど）	2.4%	14.2%	82.9%	0.4%
11 レクリエーション（つり、ハイキングなど）	1.0%	3.9%	94.2%	0.9%
12 スポーツ（野球・テニスなど）	1.4%	7.0%	90.9%	0.7%

○12項目についての過去1年間の参加状況は、「初めて参加」と「以前から参加」を合わせた《参加経験者》が最も高いのは、“伝統文化・芸能（祭りなど）”（16.6%）で唯一1割台となっている。次いで“スポーツ（野球・テニスなど）”（8.4%）、“芸術・文化（絵画・音楽など）”（5.3%）、“レクリエーション（つり、ハイキングなど）”（4.9%）と続いている。

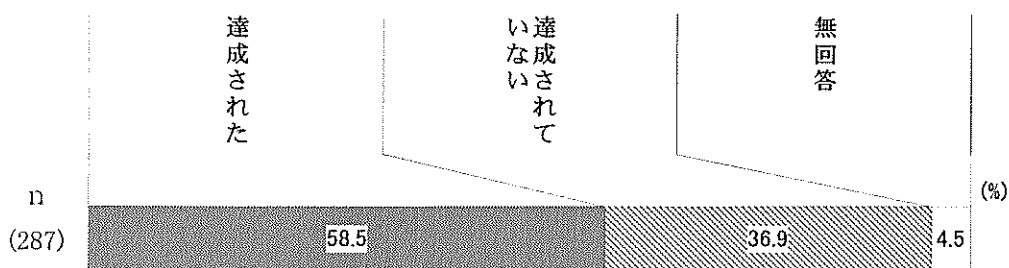
## (2) 生涯学習活動に参加する目的

◇「自分の世界を広げ人生を豊かにする」が1割を超える

問27 あなたが、学習活動や講座、地域の集まりなどに参加される主な目的は何ですか。次の中から1つだけ選んでください。



### 【目的達成の有無】



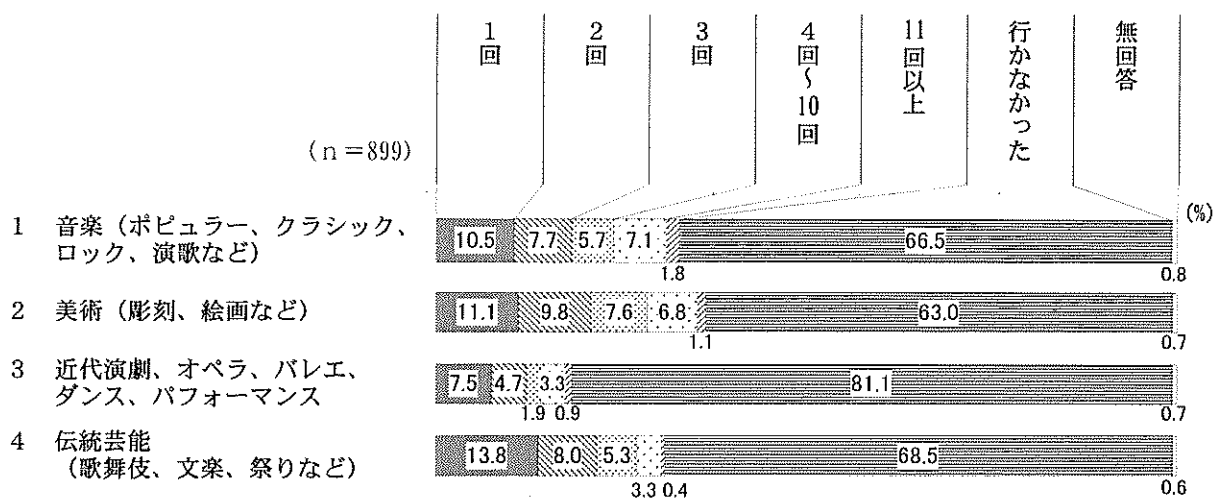
○学習活動や講座、地域の集まりなどに参加する目的は、「自分の世界を広げ人生を豊かにする」(12.8%)が1割を超えて最も高く、「いろいろな人と知り合う機会をもつ」(9.0%)がほぼ1割となっている。全体では「そのような活動には参加していない」(60.6%)がほぼ6割を占める。

○何らかの参加目的を持っていた人が、目的を達成した割合は6割近くとなっている。

### (3) 芸術、文化、伝統芸能の鑑賞頻度

◇ “美術（彫刻、絵画など）” が最も多く鑑賞されている

問28 あなたは、この1年間に次の芸術、文化、伝統芸能を観たり聴いたりするために、どのくらい足を運びましたか。次の1から4のそれぞれについてその回数を1つずつ選んでください。



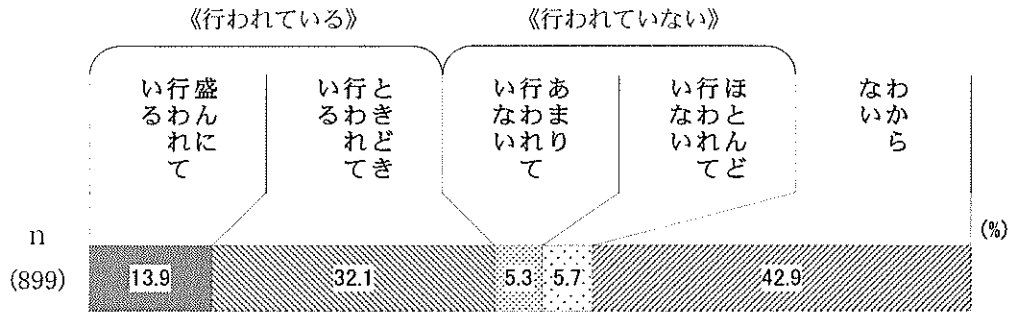
○最近1年間に1回以上足を運んで鑑賞した芸術、文化、伝統芸能は、“美術（彫刻、絵画など）”（36.4%）が3割台半ばで最も高く、以下、“音楽（ポピュラー、クラシック、ロック、演歌など）”（32.8%）、“伝統芸能（歌舞伎、文楽、祭りなど）”（30.8%）などの順になっている。一方、最も低いのは「近代演劇、オペラ、バレエ、ダンス、パフォーマンス」（18.3%）で2割未満である。

#### (4) 地域活動の実施状況・参加状況

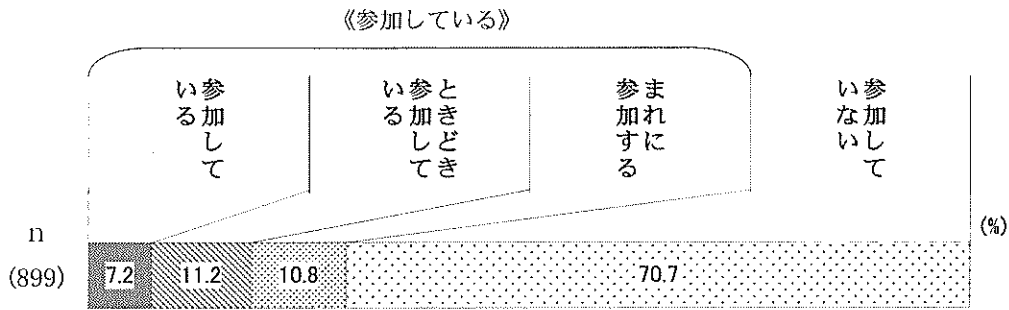
◇地域活動が《行われている》は4割台半ば、《参加している》はほぼ3割

問29 みんなと協力して地域を住み良くするため、町会・自治会、子ども会、ボランティアなどの地域活動があります。あなたが今住んでおられる地域ではどの程度行われていますか。また、あなた自身は参加していますか。次の1と2についてそれぞれ1つずつ選んでください。

##### 【実施状況】



##### 【参加状況】



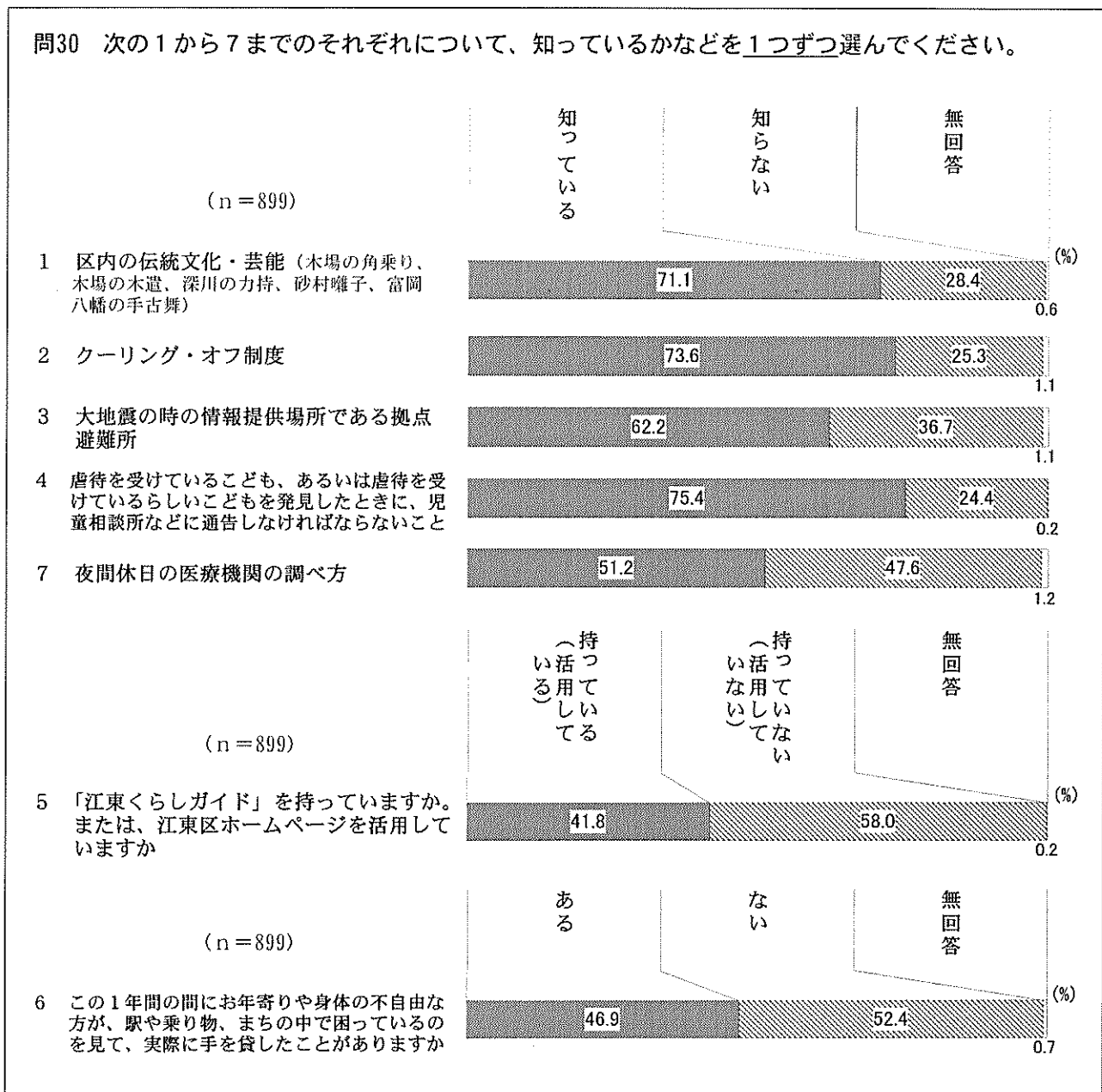
○町会・自治会、子ども会、ボランティアなどの地域活動が行われている程度は、「盛んに行われている」(13.9%)と「ときどき行われている」(32.1%)を合わせた《行われている》(46.0%)は4割台半ばとなっている。また、「わからない」(42.9%)が4割以上を占めている。

○次に、それらの活動への参加状況を見ると、「参加している」(7.2%)、「ときどき参加している」(11.2%)、「まれに参加する」(10.8%)の3つを合わせた《参加している》(29.2%)はほぼ3割となっている。



(5) 区事業等の認知度、活用状況

◇被虐待児発見時の通報義務の認知度が7割台半ば



○区事業等の認知度、活用状況は、“虐待を受けているこども、あるいは虐待を受けているらしいこどもを発見したときに、児童相談所などに通告しなければならないこと”を「知っている」(75.4%)が7割台半ばで最も高く、次いで“クーリング・オフ制度”(73.6%)と“区内の伝統文化・芸能(木場の角乗り、木場の木遣、深川の力持、砂村囃子、富岡八幡の手古舞)”(71.1%)が7割台となっている。

○“「江東くらしガイド」(江東区ホームページを含む)”を「持っている(活用している)」(41.8%)は4割を超える程度で、「持っていない(活用していない)」(58.0%)が6割近くを占めている。

○“この1年間の間にお年寄りや身体の不自由な方が、駅や乗り物、まちの中で困っているのを見て、実際に手を貸したこと”が「ある」(46.9%)は4割台半ばで、「ない」(52.4%)が過半数を占めている。

## (6) 生活時間

◇【自由時間】は平日で190分、休日で341分

問31 あなたの1日の生活時間についておたずねします。次の1から8の行動にそれぞれ、どのくらい時間を使っていますか。平日と休日に分けてお答えください。記入は分単位で、ない場合は0（ゼロ）としてください。

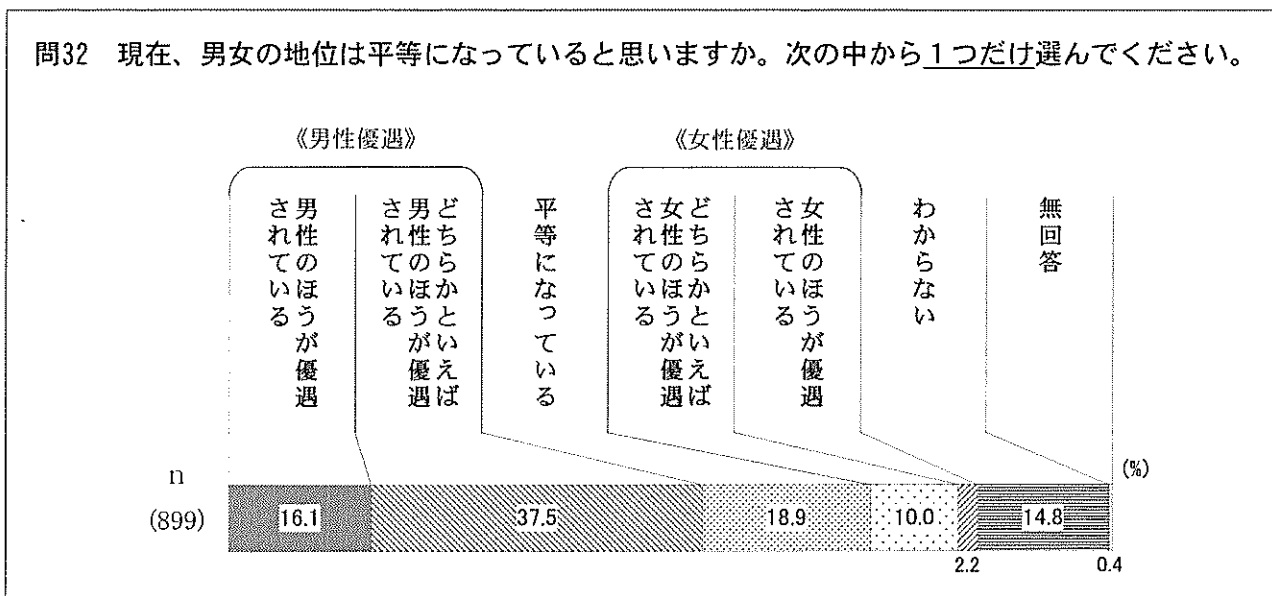
	平日	休日		平日	休日
1 自由時間	190.30分	340.93分	5 介護	6.16分	5.33分
2 炊事	48.98分	55.02分	6 子育て	39.62分	60.33分
3 洗濯	27.21分	33.56分	7 買い物	31.24分	57.78分
4 掃除	20.76分	30.34分	8 通勤(片道)	26.65分	3.30分

○日常生活の8つの行動にかかる時間は平日の場合、【自由時間】の平均190分が最も長く、次いで【炊事】の49分、【子育て】40分、【買い物】31分などとなっている。休日では【自由時間】が平日よりも151分長く、【買い物】も27分長いが、【炊事】【洗濯】【掃除】の平日との差は10分以下である。

## (7) 男女平等意識

◇「平等になっている」は2割近く、《男性優遇》が半数を超える

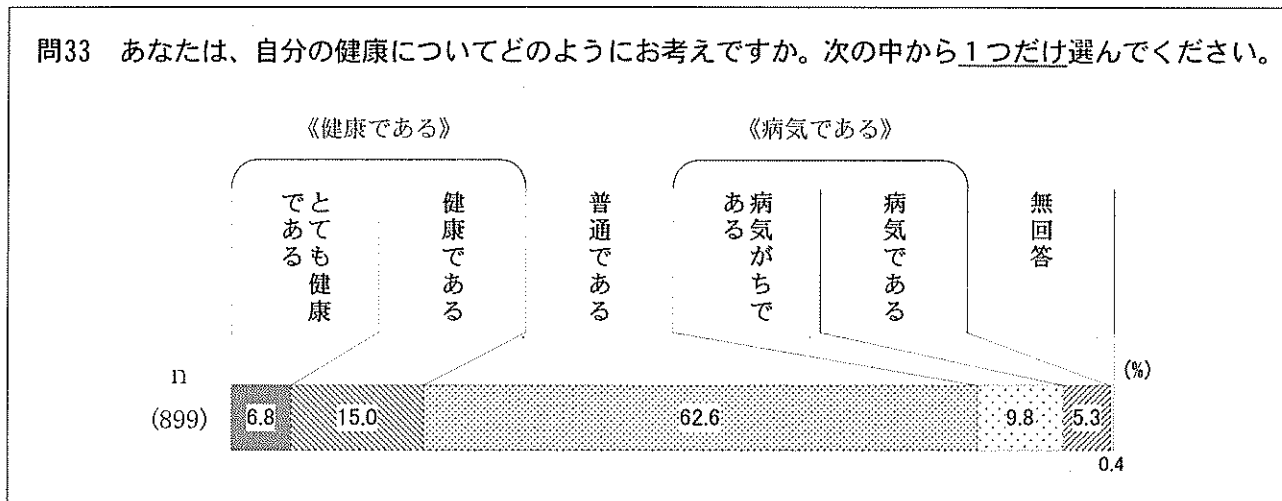
問32 現在、男女の地位は平等になっていると思いますか。次の中から1つだけ選んでください。



○男女の地位の平等に関しては、「平等になっている」(18.9%)は2割近くにとどまり、「男性のほうが優遇されている」(16.1%)と「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」(37.5%)を合わせた《男性優遇》(53.6%)が過半数を占めている。一方、《女性優遇》(12.2%)は1割を超える程度である。

## (8) 自分の健康状態

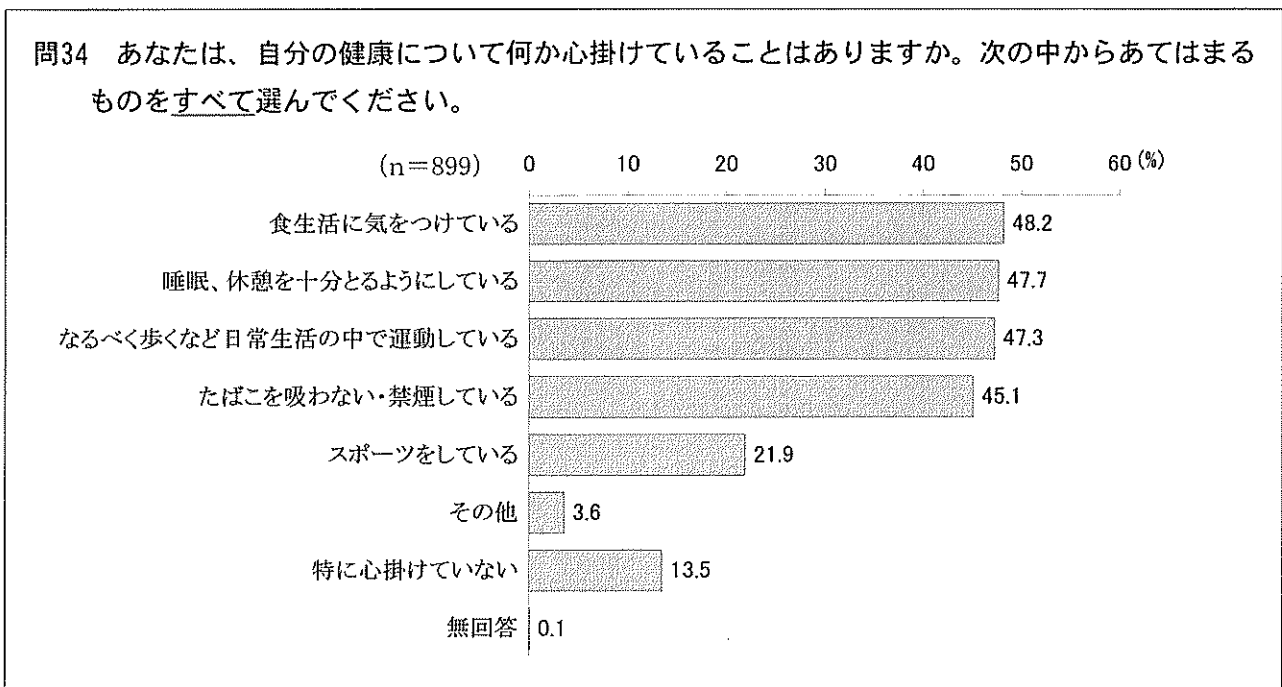
◇《健康である》は2割を超え、《病気である》は1割台半ば



○自分の健康状態については、「普通である」(62.6%)が6割以上を占める。「とても健康である」(6.8%)と「健康である」(15.0%)を合わせた《健康である》(21.8%)は2割を超え、「病気である」(5.3%)と「病気がちである」(9.8%)を合わせた《病気である》(15.1%)は1割台半ばとなっている。

## (9) 健康についての心掛け

◇「食生活に気をつけている」、「睡眠、休憩を十分とるようにしている」、「なるべく歩くなど日常生活の中で運動している」が半数近く

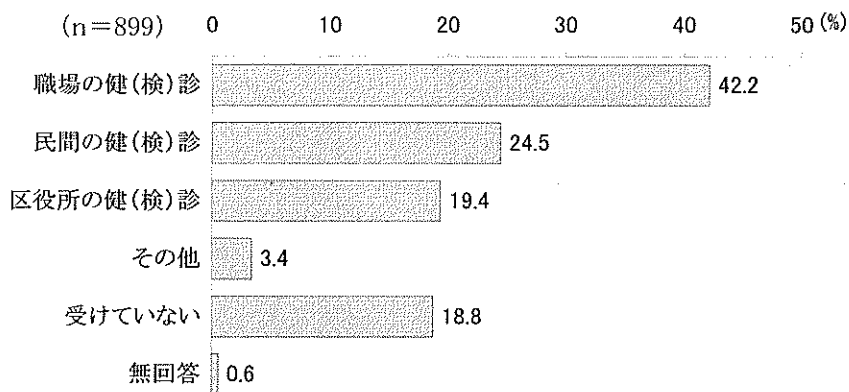


○自分の健康について心掛けていることは、「食生活に気をつけている」(48.2%)、「睡眠、休憩を十分とるようにしている」(47.7%)、「なるべく歩くなど日常生活の中で運動している」(47.3%)の3つが半数近く、次いで「たばこを吸わない・禁煙している」(45.1%)が4割台半ば、「スポーツをしている」(21.9%)が2割を超えている。一方、「特に心掛けていない」(13.5%)は1割を超える程度である。

## (10) 健康診断受診の有無

◇何らかの健（検）診を受けた人はほぼ8割

問35 あなたは、この1年間にどこで健康診断を受けましたか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

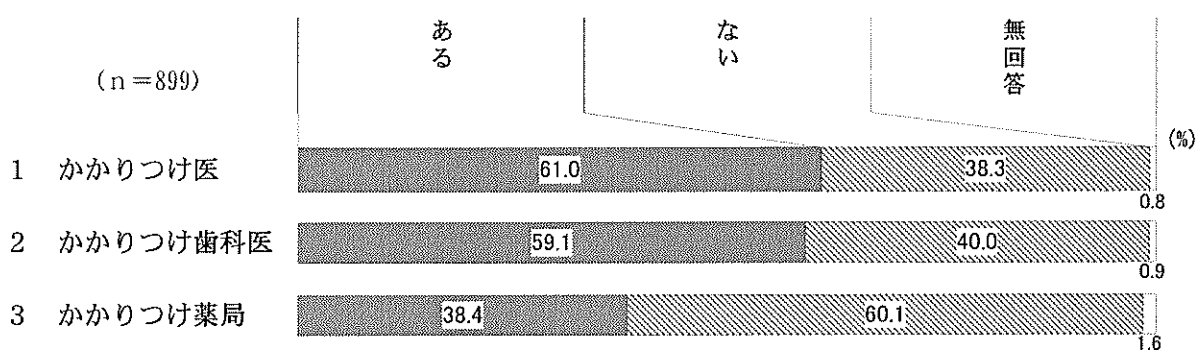


○最近1年間の健康診断の受診場所は、「職場の健（検）診」（42.2%）が4割を超えて最も高く、「民間の健（検）診」（24.5%）が2割台半ば、「区役所の健（検）診」（19.4%）がほぼ2割となっており、何らかの健（検）診を受けた人はほぼ8割となっている。一方、「受けていない」（18.8%）は2割近くである。

## (11) かかりつけ医・歯科医・薬局の有無

◇“かかりつけ医”や“かかりつけ歯科医”が「ある」のは6割前後

問36 あなたは、かかりつけ医・歯科医・薬局がありますか。次の1から3のそれぞれについて1つずつお答えください。

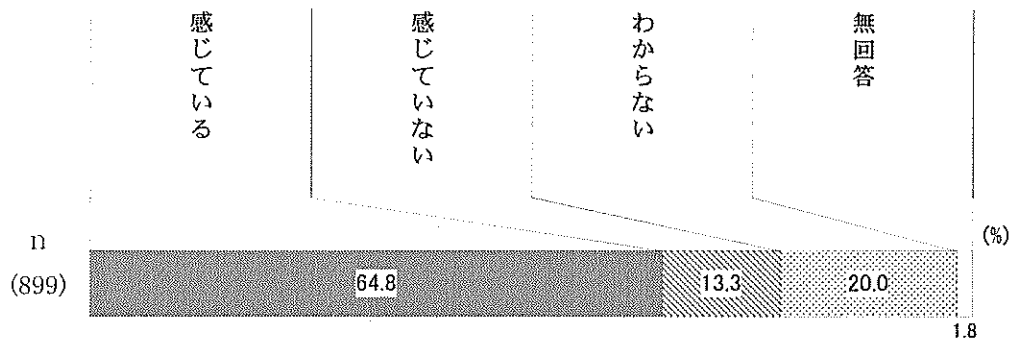


○かかりつけ医・歯科医・薬局に関して、「ある」は、「かかりつけ医」（61.0%）と「かかりつけ歯科医」（59.1%）は6割前後だが、「かかりつけ薬局」（38.4%）は4割近くとなっている。

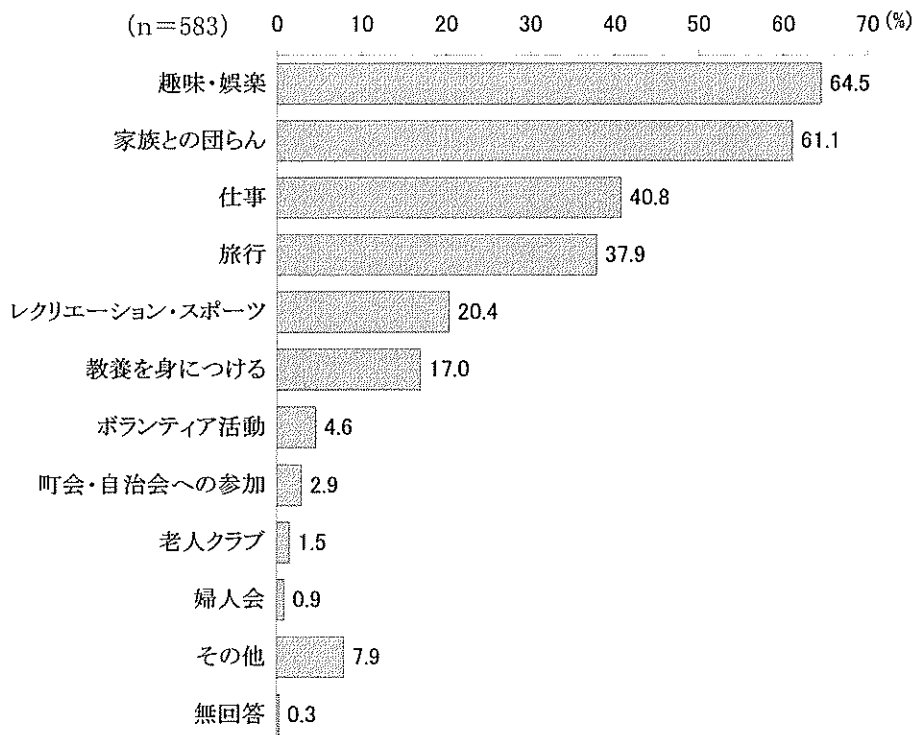
(12) 生きがいの有無

◇「感じている」が6割台半ば

問37 あなたは、現在生きがいを感じていますか。



【生きがいを感ずる時 (複数回答)】

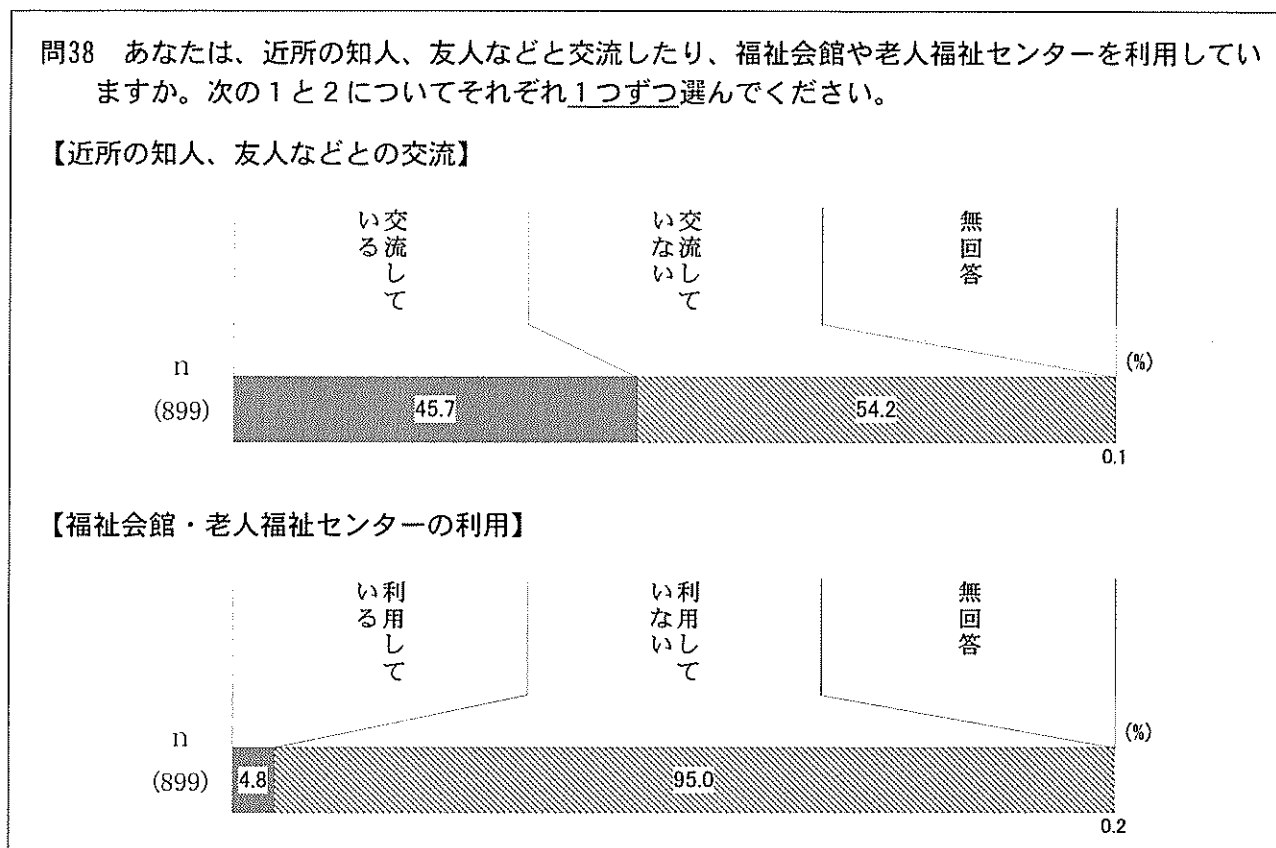


○生きがいに関しては、「感じている」(64.8%)が6割台半ばを占める。また、「感じていない」(13.3%)よりも「わからない」(20.0%)の方が高くなっている。

○どのような時に生きがいを感ずるかについては、「趣味・娯楽」(64.5%)と「家族との団らん」(61.1%)が6割を超え、次いで「仕事」(40.8%)と「旅行」(37.9%)が4割前後、「レクリエーション・スポーツ」(20.4%)が2割となっている。

(13) 知人、友人などとの交流や福祉会館・老人福祉センターの利用

◇知人、友人などと「交流している」は4割台半ば

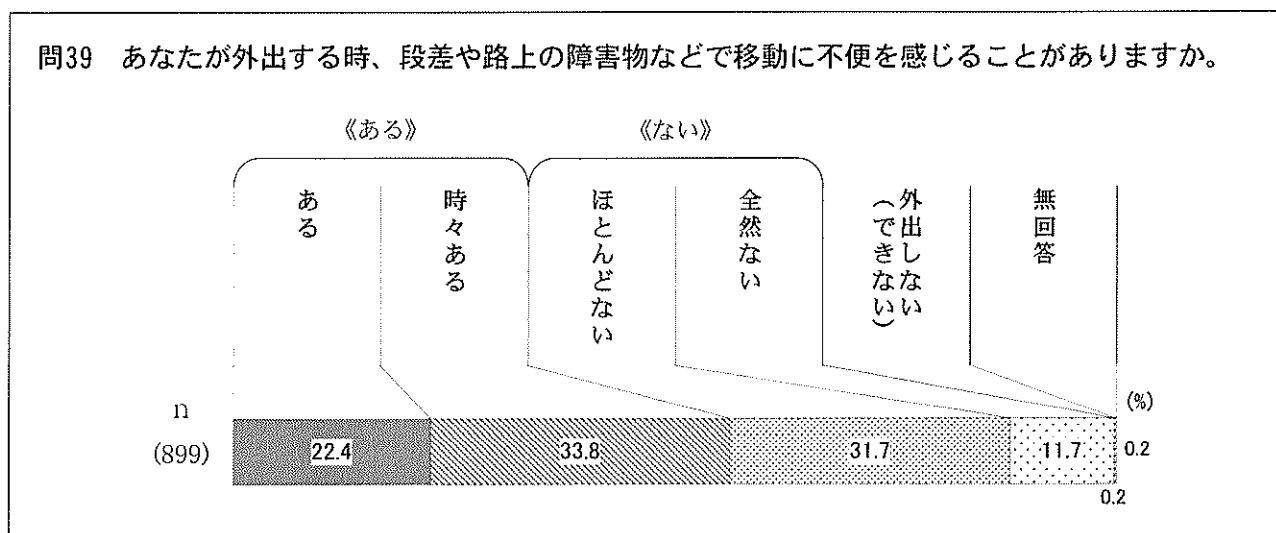


○近所の知人、友人などとの交流状況は、「交流していない」(54.2%)が5割台半ばで、「交流している」(45.7%)を上回っている。

○また、福祉会館や老人福祉センターの利用状況は、「利用していない」(95.0%)が9割台半ばを占め、「利用している」(4.8%)はわずかである。

(14) 段差や路上の障害物などで不便に感じた経験

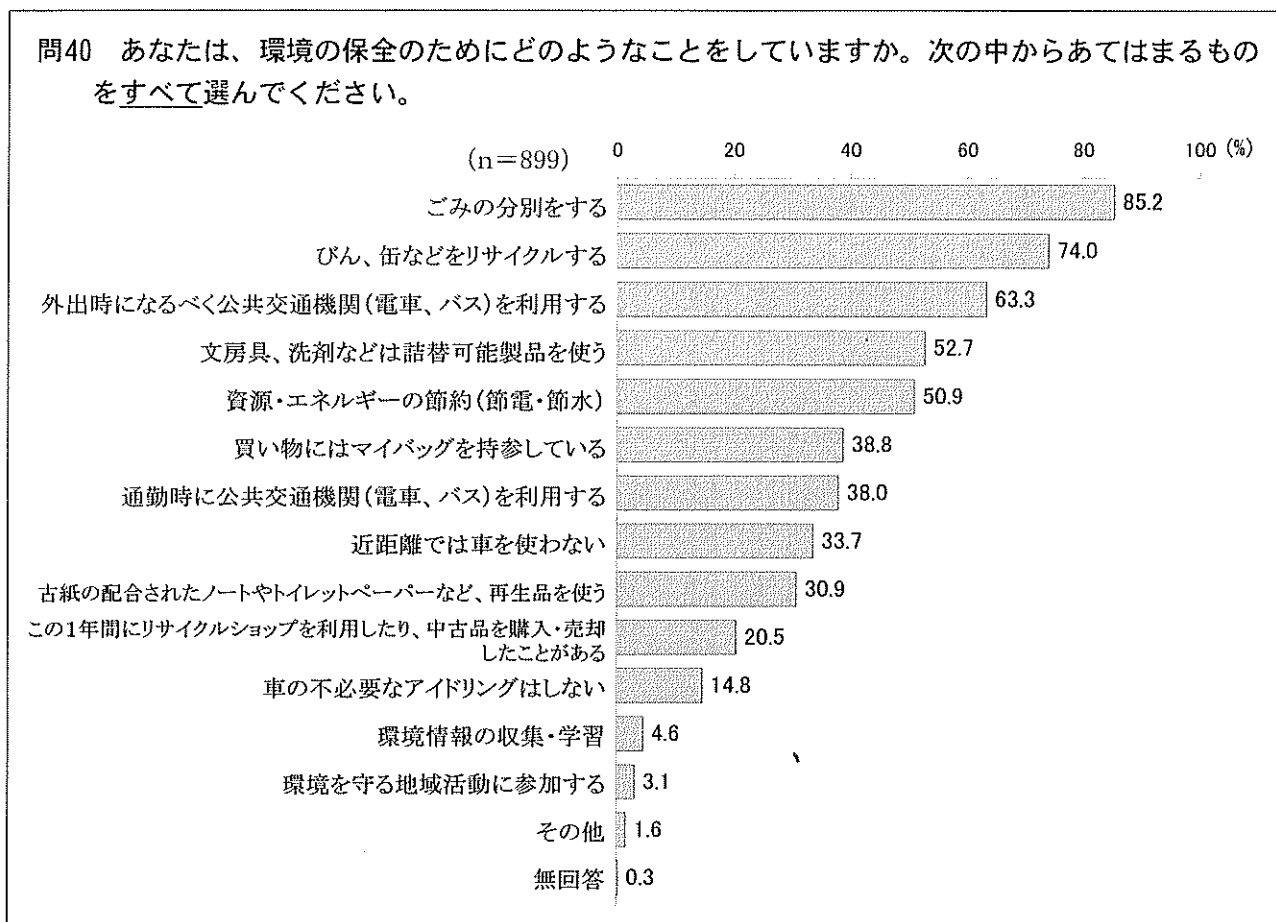
◇不便に感じた経験が《ある》は5割台半ば



○外出時、段差や路上の障害物などで移動に不便を感じる経験が「ある」(22.4%)と「時々ある」(33.8%)を合わせた《ある》(56.2%)は5割台半ばとなっている。

(15) 環境保全のために実行していること

◇「ごみの分別をする」が8割台半ば

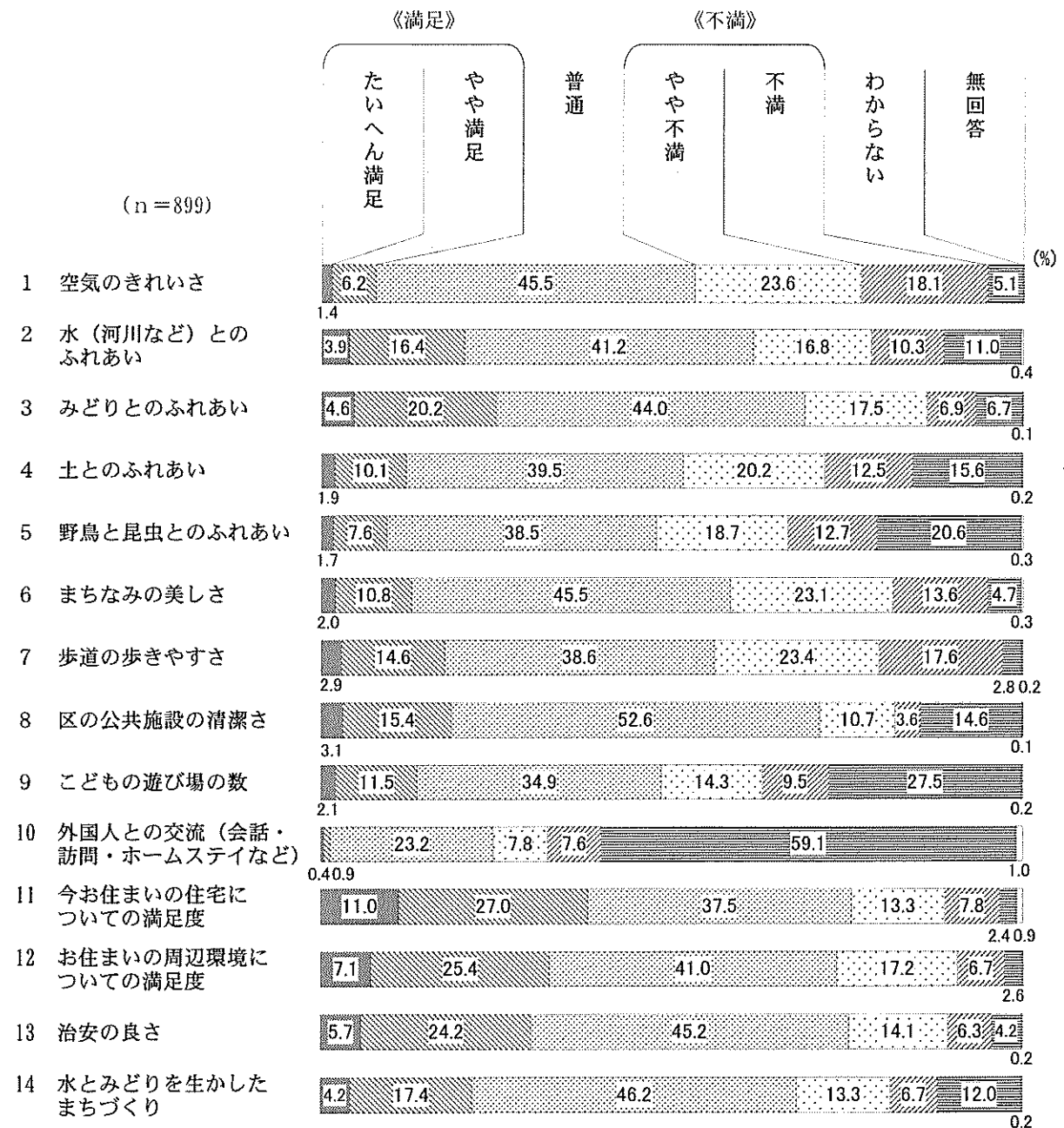


○環境の保全のためにしていることは、「ごみの分別をする」(85.2%)が8割台半ばで最も高く、以下、「びん、缶などをリサイクルする」(74.0%)、「外出時になるべく公共交通機関(電車、バス)を利用する」(63.3%)、「文房具、洗剤などは詰替可能製品を使う」(52.7%)、「資源・エネルギーの節約(節電・節水)」(50.9%)と続いている。

(16) 生活環境評価

◇ “今お住まいの住宅について” 《満足》が4割近く

問41 まちの環境や暮らしの快適さについておたずねします。次の1から14の各項目ごとに、あなたの満足度の割合を1つずつ選んでください。

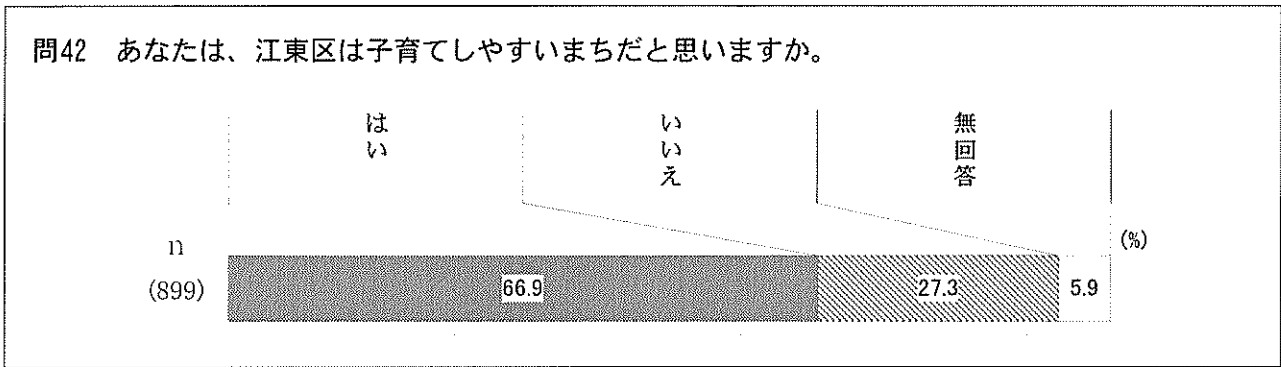


○生活環境に関する14項目について、「たいへん満足」と「やや満足」を合わせた《満足》は、“今お住まいの住宅についての満足度” (38.0%) が4割近くで最も高く、以下、“お住まいの周辺環境についての満足度” (32.5%)、“みどりとのふれあい” (24.8%)、“水とみどりを生かしたまちづくり” (21.6%) と続いている。一方、「不満」と「やや不満」を合わせた《不満》は、“空気のきれいさ” (41.7%) と“歩道の歩きやすさ” (41.0%) の2つで4割を超えている。



(17) 子育てのしやすさ

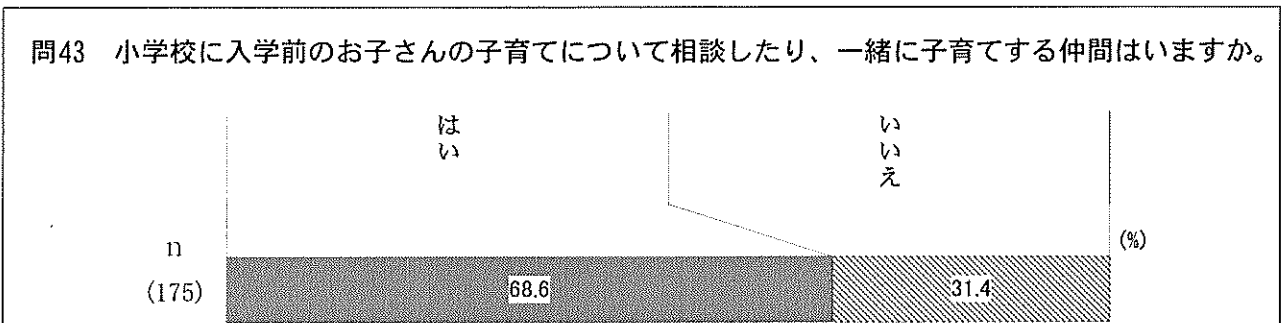
◇「はい」が6割台半ば



○江東区は子育てしやすいまちだと思うかは、「はい」(66.9%)が6割台半ばを占め、「いいえ」(27.3%)は3割近くとなっている。

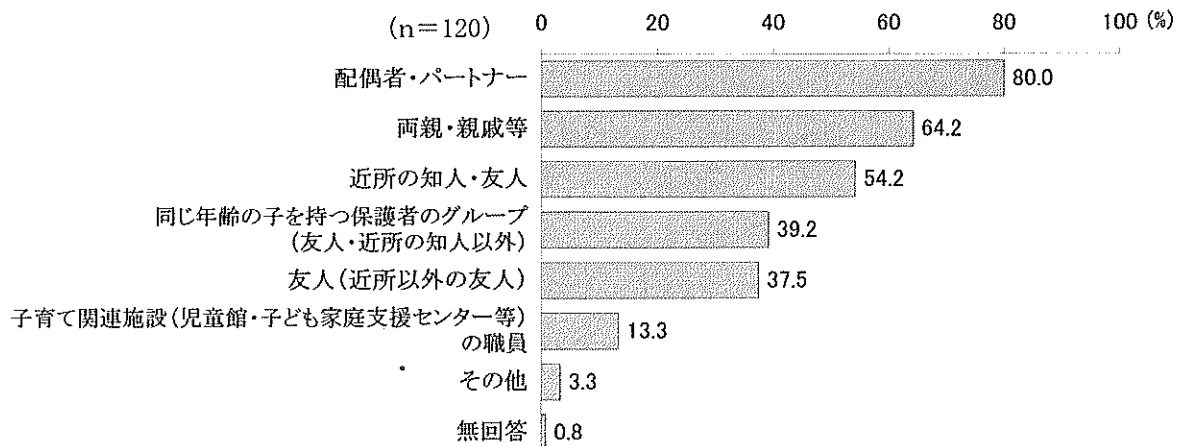
(18) 子育て仲間の有無

◇就学前のこどもがいるのはほぼ2割、そのうち子育て仲間がいるのは3人に2人



(注) 図表は「小学校に入学前のこどもはいない」と「無回答」を除いて再集計した結果を掲載している。

【子育て仲間（複数回答）】



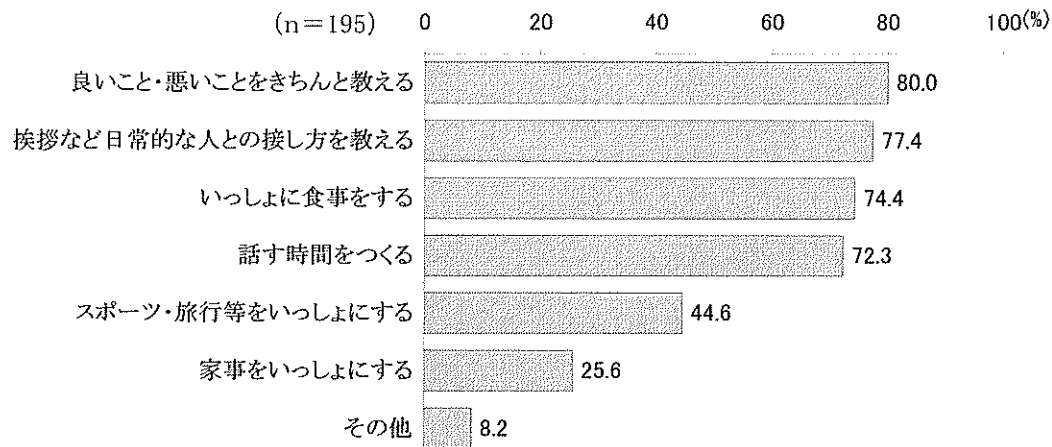
○小学校入学前のお子さんの子育て仲間の有無は、「はい」(13.3%)が「いいえ」(6.1%)の約2倍となっている。全体の数値から「小学校に入学前のこどもはいない」と「無回答」(1.0%)を除いて再集計をすると、「はい」(68.6%)は3人に2人となっている。

○子育て仲間がいると回答した人の仲間は、「配偶者・パートナー」(80.0%)が8割で最も高く、以下、「両親・親戚等」(64.2%)、「近所の知人・友人」(54.2%)と続いている。

### (19) こどもとのコミュニケーションについての心掛け

◇「良いこと・悪いことをきちんと教える」が1位

問44 家庭でのお子さん（中学生まで）とのコミュニケーションについて、心掛けて実行していることは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



(注) 図表は「中学生までのこどもはいない」と「無回答」を除いて再集計した結果を掲載している。

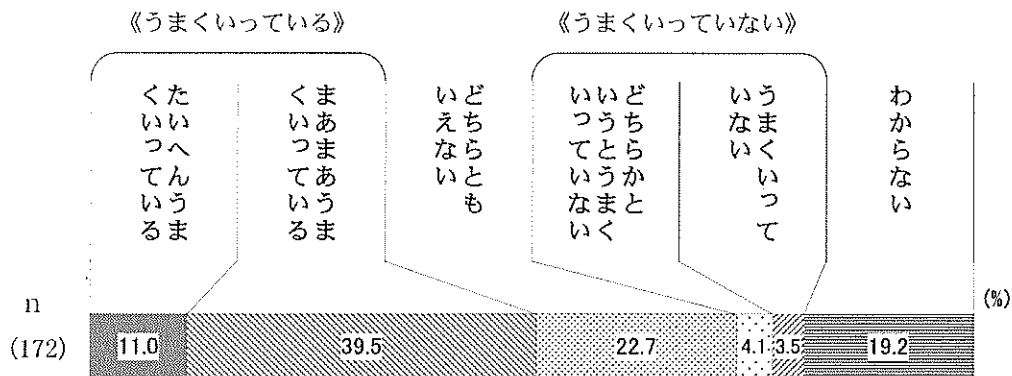
○中学生までのこどもとのコミュニケーションで心掛けて実行していることは、「良いこと・悪いことをきちんと教える」(17.4%)、「挨拶など日常的な人との接し方を教える」(16.8%)、「いっしょに食事をする」(16.1%)、「話す時間をつくる」(15.7%)の4つが比較的高くなっている。一方、「中学生までのこどもはいない」(76.6%)は7割台半ばを占めている。

全体の数値から「中学生までの子どもはいない」と「無回答」を除いて再集計してみると、「良いこと・悪いことをきちんと教える」(80.0%)が8割、「挨拶など日常的な人との接し方を教える」(77.4%)、「いっしょに食事をする」(74.4%)、「話す時間をつくる」(72.3%)が7割台となっている。

## (20) 小・中学校と保護者とのコミュニケーション状況

◇《うまくいっている》がほぼ半数

問45 小学校、中学校と保護者のコミュニケーションはうまくいっていると思いますか。次の中から1つだけ選んでください。



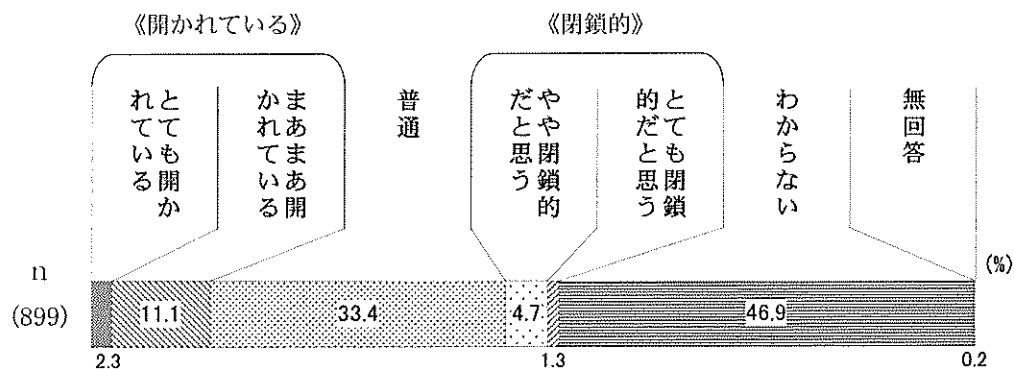
(注) 図表は「小・中学生のこどもはいない」と「無回答」を除いて再集計した結果を掲載している。

○小学校、中学校と保護者のコミュニケーションに関しては、「たいへんうまくいっている」(2.1%)と「まあまあうまくいっている」(7.6%)を合わせた《うまくいっている》(9.7%)は1割である。一方、「小・中学生のこどもはいない」(78.6%)が8割近くを占めている。全体の数値から「小・中学生のこどもはいない」と「無回答」を除いて再集計してみると、《うまくいっている》(50.5%)はほぼ半数となっている。一方、《うまくいっていない》(7.6%)は1割未満で、「どちらともいえない」(22.7%)が2割を超えている。

## (21) 区政の公開度

◇《開かれている》は1割を超える程度

問46 「ホームページ」や区役所内の「こうとう情報ステーション」を通じて、区政情報をお知らせしていますが、あなたにとって、江東区政は区民に対して開かれていると思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

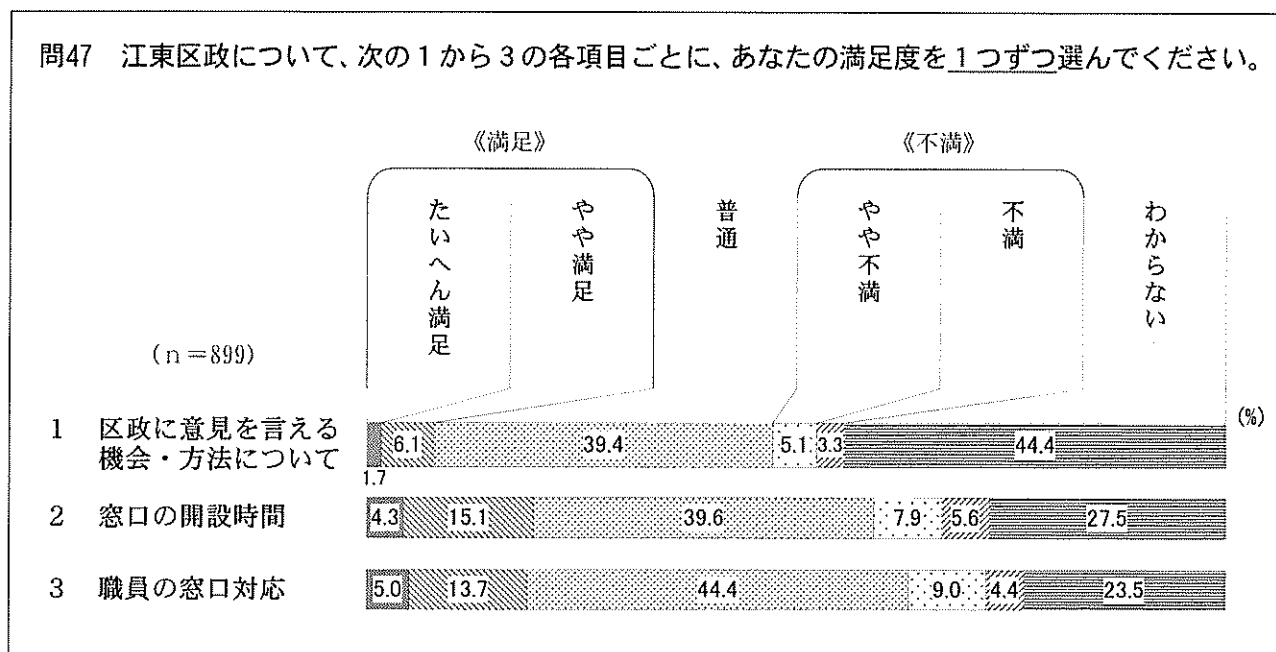


○江東区政は区民に対して開かれていると思うかは、「とても開かれている」(2.3%)と「まあまあ開かれている」(11.1%)を合わせた《開かれている》(13.4%)は1割を超える程度となっている。一方、「とても閉鎖的だと思う」(1.3%)と「やや閉鎖的だと思う」(4.7%)を合わせた《閉鎖的》(6.0%)は1割未満で、「わからない」(46.9%)が4割台半ばを占めている。

(22) 区政に対する満足度

◇《満足》が高いのは“窓口の開設時間”と“職員の窓口対応”

問47 江東区政について、次の1から3の各項目ごとに、あなたの満足度を1つずつ選んでください。



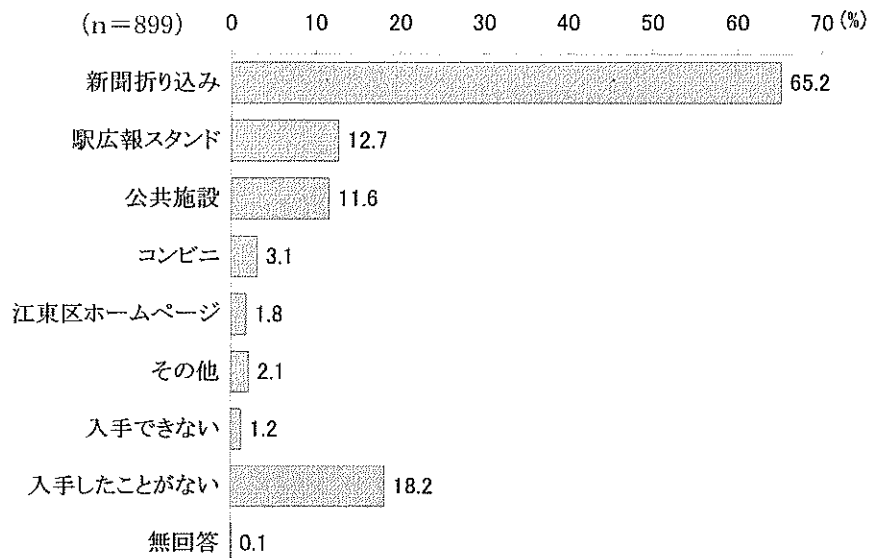
○区政に対する満足度として、「たいへん満足」と「やや満足」を合わせた《満足》は“窓口の開設時間”（19.4%）と“職員の窓口対応”（18.7%）で2割近くとなっている。一方、「やや不満」と「不満」を合わせた《不満》でも、“窓口の開設時間”（13.5%）と“職員の窓口対応”（13.4%）がほぼ同じ割合となっており、両者とも《満足》よりは低くなっている。また、“区政に意見を言える機会・方法について”は「わからない」が4割台半ばを占めている。

## 【11 広報・広聴】

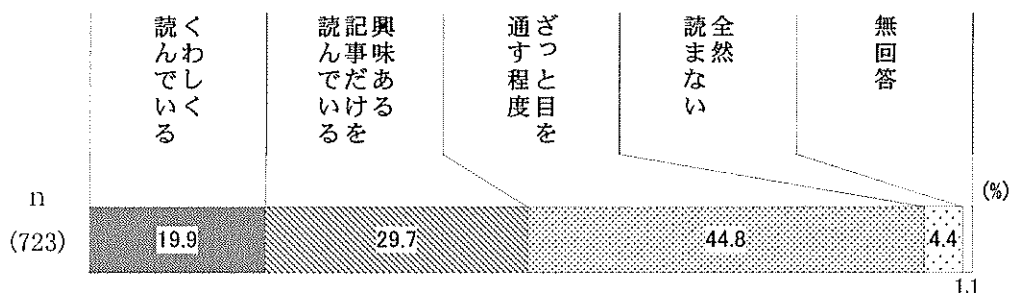
### (1) 「こうとう区報」の入手方法、閲読状況

◇「新聞折り込み」が6割台半ば

問48 「こうとう区報」の入手方法は、新聞折り込み、各交通機関の駅広報スタンド、コンビニ、公共施設（図書館・出張所など）がありますが、区報をどのような方法で入手されていますか。次の中から2つまで選んでください。



### 【「こうとう区報」の閲読状況】

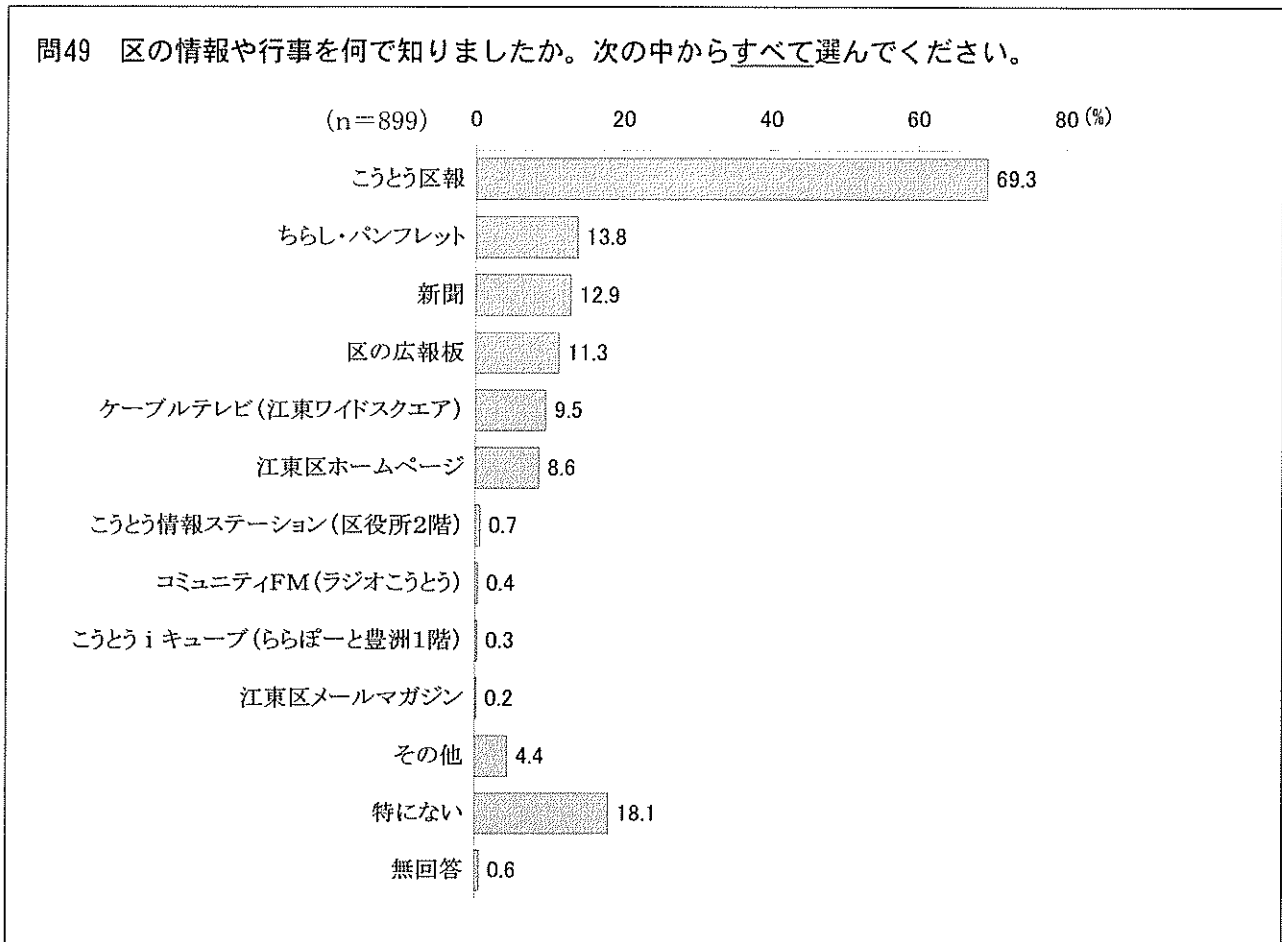


○「こうとう区報」の入手方法は、「新聞折り込み」（65.2%）が6割台半ばで特に高く、以下、「駅広報スタンド」（12.7%）と「公共施設」（11.6%）が1割を超えている。一方、「入手したことがない」（18.2%）は2割近くである。

○区報を入手している人の閲読状況は、「ざつと目を通す程度」（44.8%）が4割台半ばを占め、「興味ある記事だけを読んでいる」（29.7%）が3割、「くわしく読んでいる」（19.9%）が2割となっている。

## (2) 区の情報や行事の認知媒体

◇「こうとう区報」がほぼ7割

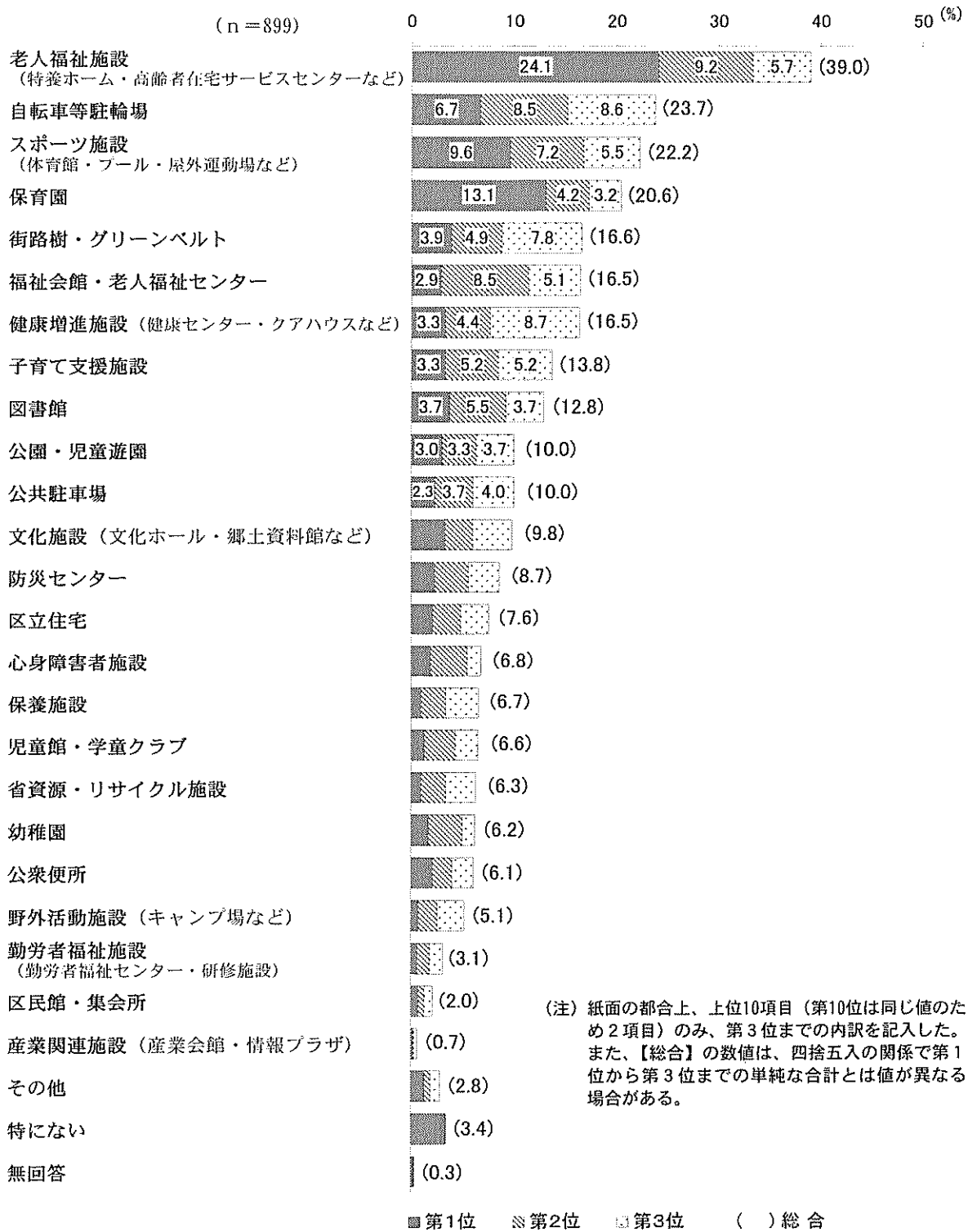


○区の情報や行事を知った媒体として、「こうとう区報」(69.3%)がほぼ7割で特に高く、次いで「ちらし・パンフレット」(13.8%)、「新聞」(12.9%)、「区の広報板」(11.3%)が1割を超えている。また、「特にない」(18.1%)は2割近くとなっている。

### (3) 充実すべき施設

◇「老人福祉施設」がほぼ4割

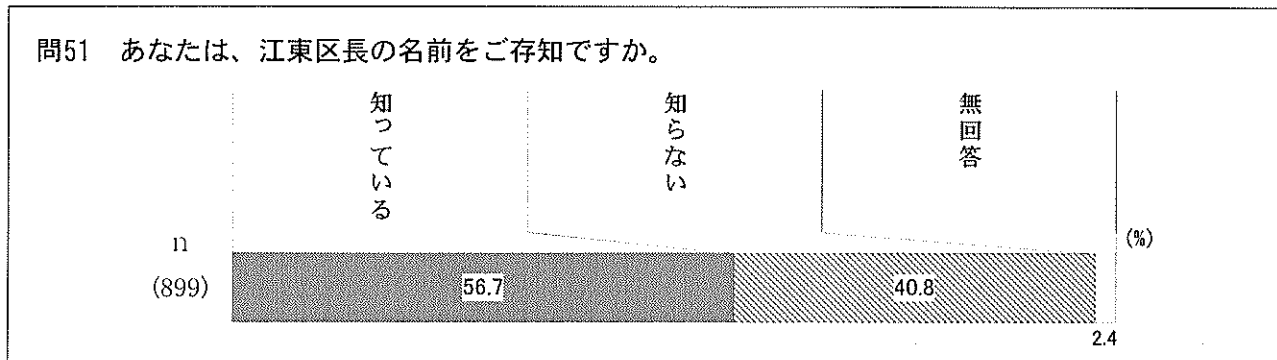
問50 今後、区でさらにどのような施設を充実させていくべきだと思いますか。3つまで選んで順位をつけて、番号を記入してください。



○【第1位】から【第3位】までを合計した【総合】では、「老人福祉施設 (特養ホーム・高齢者在宅サービスセンターなど)」(39.0%) がほぼ4割で最も高く、以下、「自転車等駐輪場」(23.7%)、「スポーツ施設 (体育館・プール・屋外運動場など)」(22.2%)、「保育園」(20.6%)と続いている。

#### (4) 区長名の周知状況

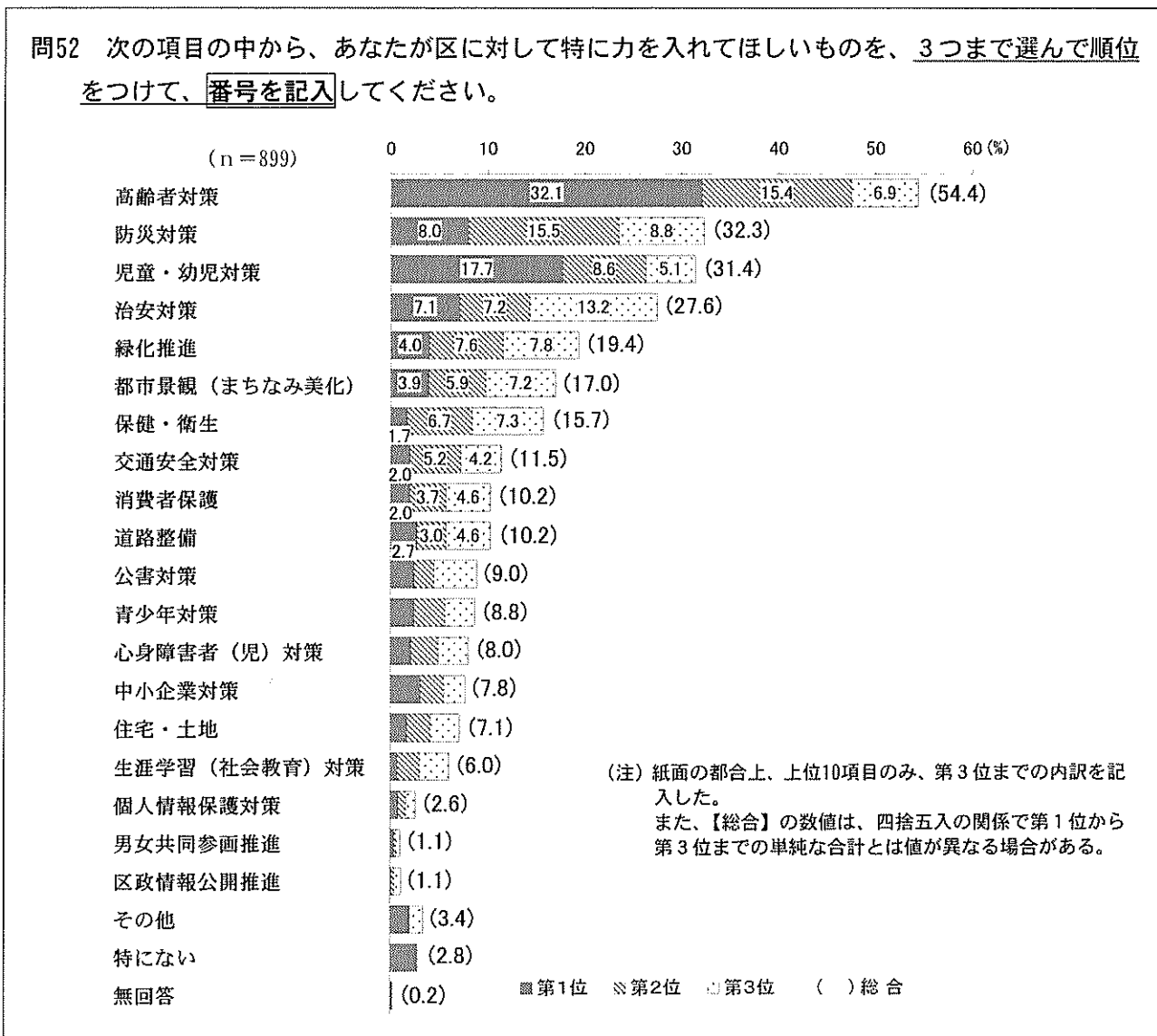
◇「知っている」は5割台半ば



○江東区長名の周知状況は、「知っている」(56.7%)が5割台半ばで、「知らない」(40.8%)を上回っている。

#### (5) 施策への要望

◇「高齢者対策」が5割台半ば



○【第1位】から【第3位】までを合計した【総合】では、「高齢者対策」(54.4%)が5割台半ばで最も高く、以下、「防災対策」(32.3%)、「児童・幼児対策」(31.4%)、「治安対策」(27.6%)、「緑化推進」(19.4%)、「都市景観(まちなみ美化)」(17.0%)と続いている。